令和７年度
神戸大学「志」特別選抜
学生募集要項
(総合型選抜)

感染症の影響や自然災害等の不測の事態により，選抜方法を変更する等，志願者への緊急の連絡が必要となった場合は，神戸大学受験生ナビでお知らせします。
https://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-examinavi/juken/kokorozashi/index.html
にてお知らせしますので，適宜確認してください。

目　　次

1　アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）…… 1
2　募集人員…… 22
3　入試日程…… 23
4　入学者選抜方法等…… 24
5　出願手続（インターネット出願）…… 83
6　受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談…… 87
7　受験票及び受験者心得…… 87
8　合格発表…… 88
9　入学手続…… 88
10　入学前教育…… 90
11　個人情報の取扱いについて…… 90
12　修学案内…… 91
13　麻しん（はしか），風しん等の感染予防措置…… 94
14　入学料免除及び徴収猶予並びに授業料免除について…… 96
15　学生のノートパソコン必携化について…… 97
問い合わせ先…… 98

１．アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

神戸大学は，世界に開かれた国際都市神戸に立地する大学として，国際的で先端的な研究・教育の拠点になることを目指しています。

これまで人類が築いてきた学問を継承するとともに，不断の努力を傾注して新しい知を創造し，人類社会の発展に貢献しようとする次のような学生を求めています。

●神戸大学の求める学生像

１．進取の気性に富み，人間と自然を愛する学生
〔求める要素：思考力・判断力・表現力，主体性・協働性，関心・意欲〕

２．旺盛な学習意欲を持ち，新しい課題に積極的に取り組もうとする学生
〔求める要素：知識・技能，主体性・協働性，関心・意欲〕

３．常に視野を広め，主体的に考える姿勢を持った学生
〔求める要素：主体性・協働性，関心・意欲〕

４．コミュニケーション能力を高め，異なる考え方や文化を尊重する学生
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，主体性・協働性〕

●入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するために，神戸大学のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを踏まえ，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を測るため，多面的・総合的な評価による選抜を実施します。

文学部

文学部では，人間がつくり上げてきた文化に対する好奇心を高め，多様な角度から人間存在の深みに光をあてる教育研究を行っています。各自の好奇心を学問的に問題化し検証する訓練を積むことで，人文学の幅広い知識と深い洞察力を身につけた人を育成することを目標にしています。そのために，次のような学生を求めています。

●文学部の求める学生像

１．みずみずしい感受性と想像力を持っている学生
〔求める要素：思考力・判断力・表現力，関心・意欲〕

２．言葉や文化，人間の行動，歴史や社会に対する幅広い関心と好奇心を持っている学生
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，関心・意欲〕

３．基礎学力，とりわけ論理的思考力，日本語および外国語の読解力・表現力，情報リテラシーをそなえている学生
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力〕

４．既成の価値観にとらわれることなく，自分で問題を発見し，探求していくことができる学生
〔求める要素：思考力・判断力・表現力，主体性・協働性，関心・意欲〕

※高等学校等で修得しておいてもらいたい内容

「国語」：文章を読み解く力，的確に表現する力。
「地歴・公民」：幅広い視野と総合的な知識，様々な社会現象を分析し捉える力。
「数学」：数学的に思考し，表現する力。
「理科」：自然を科学的に理解する力。
「英語」：外国語の読解力と表現力，外国語によるコミュニケーション能力。
「情報」：情報を科学的に理解する力と活用する力。

●入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するために，文学部のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを踏まえ，「志」特別選抜では，一次選抜により「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を測り，最終選抜により「知識・技能」「主体性・協働性」「関心・意欲」を測ります。

国際人間科学部　環境共生学科

国際人間科学部環境共生学科は，人間を取り巻く多様な環境を幅広い視野から理解し，持続的な共生関係を構築・維持するための教育・研究を行います。

環境共生学科の「志」特別選抜では，特に理数系人材として，生命，物質，地球から宇宙におよぶ様々な階層における自然諸現象の幅広い理解，または多様な環境に潜む諸現象の数理的手法による解明を踏まえて，環境共生を推進し，具体的な問題に取り組む人材を養成するため，次のような学生を求めています。

●国際人間科学部（環境共生学科）が「志」特別選抜で求める学生像

１．理数系の広範な分野に興味をもち，自然環境や数理環境に関する基礎的・応用的・実践的な問題を解明・解決するために広い学問分野を深く学ぶ意欲を持つ学生
〔求める要素：知識・技能 ，関心・意欲〕

２．理科や数学に関する研究課題に取り組んだ実績をもち，自然科学や数理科学に関する基礎学力を備えている学生
〔求める要素：知識・技能，主体性・協働性，関心・意欲〕

３．具体的な課題を自ら発見し，それを深く掘り下げて追究できる基礎的な能力を有する学生
〔求める要素：思考力・判断力 ・表現力，主体性・協働性，関心・意欲〕

４．異なる考え方や文化を尊重し，積極的にコミュニケーションを行い，協力して問題解決に取り組むことができる資質を有する学生
〔求める要素：思考力・判断力・表現力，主体性・協働性，関心・ 意欲〕

※高等学校等で修得しておいてもらいたい内容

「国語」：読解力，コミュニケーション力，表現力。
「地歴・公民」：幅広く総合的な知識，様々な社会現象を捉える分析力。
「数学」：数学的な表現力・総合力，論理的思考力。
「理科」：自然科学の総合的理解力，論理的思考力。
「英語」：読解力，コミュニケーション力，表現力。
「情報」： 情報を科学的に理解する力と活用する力。

●入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するために，国際人間科学部環境共生学科では書類審査，模擬講義・レポート，総合問題，研究能力審査（ポスタープレゼンテーション，面接・口頭試問，総括レポート）により，学生の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を多面的に評価します。

法学部

法学部では，幅広い教養と法学・政治学的素養とをそなえ，高度に専門化した社会における要請に対応し得る問題解決能力を身につけた人材および急激に進展しつつある国際的環境のなかで法的・政治的な領域における国際的な貢献を行う能力を有する人材の育成を目標として，次のような学生を求めています。

●法学部の求める学生像

１．社会科学特有の一般的教養・知識を有し，その上で特に，日本語文章の読解・表現，外国語の理解・使用および理論的・数理的な思考に関する優れた能力を有する学生
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力〕

２．それらの能力を活用しつつ広く法学・政治学の専門的知識を修得する意欲に富む学生
〔求める要素：知識・技能，主体性・協働性，関心・意欲〕

３．国際的な領域での活躍を希望し，幅広い視野のもとで法学・政治学の専門的知識を積極的に活かそうとする学生
〔求める要素：知識・技能，主体性・協働性，関心・意欲〕

※高等学校等で修得しておいてもらいたい内容

「国語」：読解力，コミュニケーション力，表現力，論理的思考力。
「地歴・公民」：社会に関する総合的な知識，様々な社会現象を捉える分析力。
「数学」：数学的思考力，表現力。
「理科」：自然科学の総合的理解力，論理的思考力。
「英語」：読解力，コミュニケーション力，表現力。
「情報」：情報を科学的に理解する力と活用する力。

●入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するために，法学部のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを踏まえ，「志」特別選抜では，書類審査，模擬講義・レポート，総合問題，面接・口頭試問により，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を測ります。

医学部　保健学科　看護学専攻

保健学は，心身の健康と疾病や障害に関する教育と研究を通して，人類の幸福と社会福祉の向上に寄与する実践的学問です。医学部保健学科は「真摯・自由・協同」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として，次のような学生を求めます。

●医学部（保健学科　看護学専攻）の求める学生像

１．豊かな教養と高い倫理観を身に付け，自立した社会人として行動する意思のある学生
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，主体性・協働性〕

２．自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生
〔求める要素：思考力・判断力・表現力，主体性・協働性〕

３．多様な価値観を尊重し，異文化のより深い理解に努めようとする学生
〔求める要素：思考力・判断力・表現力，関心・意欲〕

４．高い倫理観と科学的視点を持ち，医学・保健学を基盤とした専門的知識を身に付け，将来，それぞれの専門領域における指導者として，国際的に活躍するべく努力する学生
〔求める要素：知識・技能，主体性・協働性，関心・意欲〕

※高等学校等で修得しておいてもらいたい内容

「国語」：文章を読み解く力，明確な表現力。

「地歴・公民」：幅広く総合的な知識，様々な社会現象を捉える分析力。

「数学」：数学的思考力，表現力，総合力。

「理科」：自然科学の総合的理解力，論理的思考力。

「英語」：読解力，コミュニケーション力，表現力。

「情報」： 情報を科学的に理解する力と活用する力。

●入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するために，医学部保健学科看護学専攻では，書類審査，模擬講義・レポート，総合問題，課題提示・発表資料作成・プレゼンテーション，面接により，学生の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を多面的に評価します。

医学部　保健学科　検査技術科学専攻

保健学は，心身の健康と疾病や障害に関する教育と研究を通して，人類の幸福と社会福祉の向上に寄与する実践的学問です。医学部保健学科は「真摯・自由・協同」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として，次のような学生を求めます。

●医学部（保健学科　検査技術科学専攻）の求める学生像

１．豊かな教養と高い倫理観を身に付け，自立した社会人として行動する意思のある学生
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，主体性・協働性〕

２．自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生
〔求める要素：思考力・判断力・表現力，主体性・協働性〕

３．多様な価値観を尊重し，異文化のより深い理解に努めようとする学生
〔求める要素：思考力・判断力・表現力，関心・意欲〕

４．高い倫理観と科学的視点を持ち，医学・保健学を基盤とした専門的知識を身に付け，将来，それぞれの専門領域における指導者として，国際的に活躍するべく努力する学生
〔求める要素：知識・技能，主体性・協働性，関心・意欲〕

※高等学校等で修得しておいてもらいたい内容

「国語」：文章を読み解く力，明確な表現力。

「地歴・公民」：幅広く総合的な知識，様々な社会現象を捉える分析力。

「数学」：数学的思考力，表現力，総合力。

「理科」：自然科学の総合的理解力，論理的思考力。

「英語」：読解力，コミュニケーション力，表現力。

「情報」： 情報を科学的に理解する力と活用する力。

●入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するために，医学部保健学科検査技術科学専攻では，書類審査，模擬講義・レポート，総合問題，課題提示・プレゼンテーション，面接により，学生の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を多面的に評価します。

医学部　保健学科　理学療法学専攻

保健学は，心身の健康と疾病や障害に関する教育と研究を通して，人類の幸福と社会福祉の向上に寄与する実践的学問です。医学部保健学科は「真摯・自由・協同」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として，次のような学生を求めます。

●医学部（保健学科　理学療法学専攻）の求める学生像

１．豊かな教養と高い倫理観を身に付け，自立した社会人として行動する意思のある学生
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，主体性・協働性〕

２．自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生
〔求める要素：思考力・判断力・表現力，主体性・協働性〕

３．多様な価値観を尊重し，異文化のより深い理解に努めようとする学生
〔求める要素：思考力・判断力・表現力，関心・意欲〕

４．高い倫理観と科学的視点を持ち，医学・保健学を基盤とした専門的知識を身に付け，将来，それぞれの専門領域における指導者として，国際的に活躍するべく努力する学生
〔求める要素：知識・技能，主体性・協働性，関心・意欲〕

※高等学校等で修得しておいてもらいたい内容

「国語」：文章を読み解く力，明確な表現力。

「地歴・公民」：幅広く総合的な知識，様々な社会現象を捉える分析力。

「数学」：数学的思考力，表現力，総合力。

「理科」：自然科学の総合的理解力，論理的思考力。

「英語」：読解力，コミュニケーション力，表現力。

「情報」： 情報を科学的に理解する力と活用する力。

●入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するために，医学部保健学科理学療法学専攻では，書類審査，模擬講義・レポート，総合問題，面接により，学生の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を多面的に評価します。

医学部　保健学科　作業療法学専攻

保健学は，心身の健康と疾病や障害に関する教育と研究を通して，人類の幸福と社会福祉の向上に寄与する実践的学問です。医学部保健学科は「真摯・自由・協同」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として，次のような学生を求めます。

●医学部（保健学科　作業療法学専攻）の求める学生像

１．豊かな教養と高い倫理観を身に付け，自立した社会人として行動する意思のある学生
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，主体性・協働性〕

２．自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生
〔求める要素：思考力・判断力・表現力，主体性・協働性〕

３．多様な価値観を尊重し，異文化のより深い理解に努めようとする学生
〔求める要素：思考力・判断力・表現力，関心・意欲〕

４．高い倫理観と科学的視点を持ち，医学・保健学を基盤とした専門的知識を身に付け，将来，それぞれの専門領域における指導者として，国際的に活躍するべく努力する学生
〔求める要素：知識・技能，主体性・協働性，関心・意欲〕

※高等学校等で修得しておいてもらいたい内容

「国語」：文章を読み解く力，明確な表現力。

「地歴・公民」：幅広く総合的な知識，様々な社会現象を捉える分析力。

「数学」：数学的思考力，表現力，総合力。

「理科」：自然科学の総合的理解力，論理的思考力。

「英語」：読解力，コミュニケーション力，表現力。

「情報」： 情報を科学的に理解する力と活用する力。

●入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するために，医学部保健学科作業療法学専攻では，書類審査，模擬講義・レポート，総合問題，模擬実習，面接により，学生の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を多面的に評価します。

【工学部】

工学部では，地球環境をまもりながら，安全・安心かつ快適で豊かさを感じられる持続可能な社会を実現するための科学・技術を探求しています。そのために，各学科の研究する最先端科学・技術分野で必須となる基礎的な学識を身に付けた上で，国際社会で創造的・先端的な役割を担い,次世代を切り拓いてゆく技術者や研究者の育成を目標に,神戸大学アドミッション・ポリシーが定める神戸大学が求める学生像に加え，特に次のような学生を求めています。

●工学部の求める学生像

１．旺盛な好奇心と探求心をあわせ持つ学生
〔求める要素：関心・意欲〕

２．自由な発想と批判的精神を持つ学生
〔求める要素：思考力・判断力・表現力〕

３．国際的な活動に積極的に取り組む学生
〔求める要素：主体性・協働性，関心・意欲〕

４．科学と技術を通じて，地球環境と人類社会との共生・調和に貢献しようとする学生
〔求める要素：知識・技能，主体性・協働性，関心・意欲〕

※高等学校等で修得しておいてもらいたい内容

「国語」：文章を正確に読み解く力，論理を正確に伝えるための作文力。

「地歴・公民」：人類社会と地球環境の関係など様々な社会現象を正確に捉える分析力。

「数学」：数学的（論理的）解析力・思考力，定式化により論理を記述する表現力。

「理科」：自然現象を対象とした観察力・分析力，および，思考の展開力。

「英語」：高い語彙力を備えた読解力・作文力に加え，国際社会を見据えたコミュニケーション力。

「情報」： 情報を科学的に理解する力と活用する力。

以上のような学生像に加え，工学部の各学科では，特に次のような学生を求めています。

工学部　建築学科

建築学は，人間生活の基盤である住宅及び建築施設等の生活空間を創造する学問です。工学部建築学科は開学以来の「真摯・自由・協同」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として，次のような学生を求めます。

●工学部（建築学科）の求める学生像

1．人文科学・社会科学・自然科学についての豊かな基礎学力を備え，芸術・科学・技術と社会とのかかわりについて理解できる学生
2．与えられるのを待つのでなく，みずからの学びを自分で探究する志を持ち，新たな発想を自由闊達に表現できる学生
3．情報・コミュニケーション能力を備え，国際的な活動に関心を持ち，異なる文化・価値観について理解し，多様性を尊重しつつ，主体性と独自性をもって新しい課題にも積極的に取り組むことができる学生
4．「計画」・「構造」・「環境」という建築の基礎的学問領域に関心を持ち，「空間デザイン」の基礎となる表現に関する基本的能力を積極的に身につけたいと考える学生

●入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するために，工学部建築学科では書類審査，模擬講義・レポート（理系），総合問題（理系），小論文，面接・口頭試問により，学生の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を多面的に評価します。

工学部　市民工学科

工学部市民工学科は，社会基盤施設の計画，建設，保全を通じて，安全・安心で環境に調和した市民社会を創成することを目指す工学領域です。工学部市民工学科は，従来の「土木工学」を基礎とし，さらに幅広い内容を持つ工学領域を新しい Civil Engineering（＝市民工学）としてとらえ，市民社会が必要とする「パブリックサービス」の担い手を育成することを目的として，次のような学生を求めます。

●工学部（市民工学科）の求める学生像

1．高い倫理観を身につけ，科学技術が社会へ及ぼす影響について理解し，主体的かつ協働して行動しようとする学生
2．自ら思考する力を持ち，新たな発想を自由闊達に表現しようと努力する学生
3．異文化をより深く理解し，多様な文化・価値観の中で研鑽を積もうとする学生
4．市民工学における高度な専門知識と幅広い見識を身につけて，社会基盤施設に関連した研究者・技術者・プロジェクトマネージャーとして広い視点から課題に取り組もうとする学生

●入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するために，工学部市民工学科では書類審査，模擬講義・レポート（理系），総合問題（理系），小論文，面接・口頭試問により，学生の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を多面的に評価します。

工学部　電気電子工学科

工学部電気電子工学科は，電子物理，電子情報に関わる技術・理論を総合的に学ぶ学科です。工学部電気電子工学科では「真摯・自由・協同」の精神に基づいて，広く社会においてリーダーとして活躍でき，電気電子工学分野の発展を担う人材を育てることを目的として，次のような学生を求めます。

●工学部（電気電子工学科）の求める学生像

１．高い倫理観を身につけ，科学技術が社会へ及ぼす影響について理解し，主体的かつ協働して行動しようとする学生

２．自ら思考する力を持ち，新たな発想を自由闊達に表現しようと努力する学生

３．海外と幅広く交流し，異文化をより深く理解し，多様な文化・価値観の中で，個性を発揮しようとする学生

４．電気電子工学における基礎知識と論理的思考力を持ち，将来，科学技術分野での活躍を期待させる意欲を持つ学生

●入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するために，工学部電気電子工学科では書類審査，模擬講義・レポート（理系），総合問題（理系），プレゼンテーション・口頭試問により，学生の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を多面的に評価します。

工学部　機械工学科

工学部機械工学科は，開学の精神である「学務と実務の両立とこれを支える自主研究の尊重」を重んじ，人類が直面する諸問題を機械工学の学理に基づく科学的方法によって解決し，豊かな経験に裏打ちされた強固な基礎知識に基づく独創的な研究・開発を通して「持続可能な社会の実現」を地球的視野でリードしていく人材を輩出することを目指しており，この目的のために「基礎力」，「研究力」，「人間力」を兼ね備えた人材を育成します。そのために機械工学科では，次のような学生を求めます。

●工学部（機械工学科）の求める学生像

１．高度な科学技術を行使するに相応しい高い倫理観を身につけ，科学技術が社会へ及ぼす影響について理解できるような社会学的視点を有する学生
２．自らの考えを積極的に発信するとともに，変化し続ける国際社会をグローバルな視点で捉え，多様な文化・価値観を理解し尊重できる学生
３．物理（特に力学）に関連した事象に興味を持ち，数学と物理を駆使して新しい工学技術を創り出すことに強い意欲を持つ学生
４．与えられた問題を解くだけでは満足せず，新たな問題を見出して，自身の知識と経験を基にそれを解決することに面白さを感じられる学生

●入学者選抜の基本方針

工学部機械工学科では，入試選抜によって上記の求める学生像を多面的に評価しますが，「志」特別選抜では，特に上記の３，４の項目について秀でた者を評価します。そのために，書類審査，模擬講義・レポート（理系），総合問題（理系），プレゼンテーション，面接・口頭試問により，学生の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を総合的に評価します。

工学部　応用化学科

工学部応用化学科は様々な産業において必要とされる材料とそのプロセスの創出を化学の視点から学び，研究する学科です。開学以来の「真摯・自由・協同」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として，次のような学生を求めます。

●工学部（応用化学科）の求める学生像

１．高い倫理観を持ち，化学を中心とする科学技術が社会へ及ぼす影響について理解し，主体的かつ協働して行動しようとする学生
２．自ら思考する力を持ち，物質の創成とそのプロセスに関する学修を通して新たな着想に結びつける努力をする学生
３．海外と幅広く交流し，異文化をより深く理解し，多様な文化・価値観の中で個性を発揮しようとする学生
４．化学における高度な専門知識と幅広い見識を持ち，科学と技術を通じて，地球環境と人類社会との共生･調和に貢献しようとする学生

●入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するために，工学部応用化学科では書類審査，模擬講義・レポート（理系），総合問題（理系），化学演習，口頭試問により，学生の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を多面的に評価します。

工学部　情報知能工学科

工学部情報知能工学は,「情報」を媒体として既存の諸工学分野を有機的に結合し,「知能」による創造的プロセスを追求するとともに，次世代の「知能」化情報システムを創出するこれまでに無い新しい学問領域です。工学部情報知能工学科では，旧来の学問の壁を打ち破るフロンティア精神に溢れた教育・研究の推進とともに，創造性豊かな思考と研究開発能力をもった技術者・研究者を養成することを目的として，次のような学生を求めます。

●工学部（情報知能工学科）の求める学生像

１．人類の幸福に貢献することへの強い志と高い倫理観を備え，主体的かつ協働的に行動する学生

２．旺盛な好奇心と意欲，自ら思考，判断する力，困難な課題に立ち向かうフロンティア精神を有する学生

３．異文化を深く理解し，多様な文化・価値観の中で個性を発揮するとともに，海外の専門家と幅広く交流して国際的に活躍することを目指す学生

４．情報知能工学が社会に与える影響に強い関心を示し，理数系科目や語学に関する基礎的な学力を有した上で，思考力・語学力・総合的学力のいずれかに著しく秀でた学生

●入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するために，工学部情報知能工学科では書類審査，模擬講義・レポート（理系），総合問題（理系），総合問題（情報知能工学），面接・口頭試問により，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を多面的に評価します。

※神戸大学では令和７年４月に工学部情報知能工学科を替えて，システム情報学部（仮称）の設置を計画しています。新学部設置が認められた場合，速やかに新学部のアドミッション・ポリシーをホームページにて公表しますので，詳細は次のホームページから確認してください。

神戸大学システム情報学部設置準備室 HP

http://www.csi.kobe-u.ac.jp/highschool_students/

農学部　食料環境システム学科　生産環境工学コース

生産環境工学は工学的な手法を応用して 21 世紀の食料生産を支える学問です。

農学部食料環境システム学科生産環境工学コースは，「真摯・自由・協同」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として，次のような学生を求めます。

●農学部（食料環境システム学科　生産環境工学コース）の求める学生像

１．豊かな教養と高い倫理観を身に付け，学習に対する関心と意欲を示し，自立した社会人として行動する意思のある学生
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，関心・意欲〕

２．自ら課題を設定し，創造的に解決しようと努力する学生
〔求める要素：主体性・協働性，思考力・判断力・表現力〕

３．コミュニケーションを通じた異文化のより深い理解と，多様な価値観を尊重した国際協働の実現に努める学生
〔求める要素：思考力・判断力・表現力，関心・意欲，主体性・協働性〕

４．幅広く豊かな教養とともに，数学・物理学をはじめとする自然科学に関する知識，及び，生産環境工学を基盤とした専門的知識を身に付け，その上で社会の様々な課題を論理的に分析，理解するべく努力する学生
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力〕

※高等学校等で修得しておいてもらいたい内容

「国語」：文章を読み解く力，明確な表現力。
「地歴・公民」：幅広く総合的な知識，様々な社会現象を捉える分析力。
「数学」：数学的思考力，表現力，総合力。
「理科」：自然科学の総合的理解力，論理的思考力。
「英語」：読解力，コミュニケーション力，表現力。
「情報」：情報を科学的に理解する力と活用する力。

●入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するために，農学部食料環境システム学科生産環境工学コースでは，書類審査，模擬講義・レポート，総合問題，面接・口頭試問により，学生の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を多面的に評価します。

農学部　食料環境システム学科　食料環境経済学コース

食料環境経済学は食や農に関わる諸問題を社会科学的に解明・解決する学問です。

農学部食料環境システム学科食料環境経済学コースは,「真摯・自由・協同」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として，次のような学生を求めます。

●農学部（食料環境システム学科　食料環境経済学コース）の求める学生像

１．豊かな教養と高い倫理観を身に付け，自立した社会人として行動する意思のある学生
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力〕

２．自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生
〔求める要素：主体性・協働性，思考力・判断力・表現力〕

３．多様な価値観を尊重し，異文化のより深い理解に努めようとする学生
〔求める要素：思考力・判断力・表現力，関心・意欲〕

４．幅広く，豊かな教養とともに食料環境経済学を基盤とした専門的知識を身に付け，今日のわが国と世界の食料・農業・農村に関する社会経済的諸問題を分析し，その解決に向けて論理的・創造的に思考するべく努力する学生
〔求める要素：思考力・判断力・表現力，知識・技能，主体性・協働性〕

※高等学校等で修得しておいてもらいたい内容

「国語」: 文章を読み解く力，明確な表現力。

「地歴・公民」: 幅広く総合的な知識，様々な社会現象を捉える分析力。

「数学」: 数学的思考力，表現力，総合力。

「理科」: 自然科学の総合的理解力，論理的思考力。

「英語」: 読解力，コミュニケーション力，表現力。

「情報」: 情報を科学的に理解する力と活用する力。

●入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するために，農学部食料環境システム学科食料環境経済学コースでは，書類審査，模擬講義・レポート，総合問題，面接・口頭試問により，学生の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を多面的に評価します。

農学部　資源生命科学科　応用動物学コース

応用動物学は動物に関わる生命現象を解明する学問です。

農学部資源生命科学科応用動物学コースは，「真摯・自由・協同」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として，次のような学生を求めます。

●農学部（資源生命科学科　応用動物学コース）の求める学生像

１．豊かな教養と高い倫理観を身に付け，自立した社会人として行動する意思のある学生

〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力〕

２．自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生

〔求める要素：主体性・協働性，思考力・判断力・表現力〕

３．多様な価値観を尊重し，異文化のより深い理解に努めようとする学生

〔求める要素：思考力・判断力・表現力，関心・意欲〕

４．幅広く，豊かな教養および確かな学力とともに応用動物学を基盤とした学識を身に付け，農学の根本的課題である食料生産の質と量の向上に向けて，農学が対象とする様々な生命現象を研究し，将来の食料生産に貢献しようとする意欲を有する学生

〔求める要素：知識・技能，関心・意欲〕

※高等学校等で修得しておいてもらいたい内容

「国語」：文章を読み解く力，明確な表現力。

「地歴・公民」：幅広く総合的な知識，様々な社会現象を捉える分析力。

「数学」：数学的思考力，表現力，総合力。

「理科」：自然科学の総合的理解力，論理的思考力。

「英語」：読解力，コミュニケーション力，表現力。

「情報」：情報を科学的に理解する力と活用する力。

●入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するために，農学部資源生命科学科応用動物学コースでは，書類審査，模擬講義・レポート，総合問題，課題提示・プレゼンテーション・面接により，学生の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を多面的に評価します。

農学部　資源生命科学科　応用植物学コース

応用植物学は植物の生産性と品質の向上を目指す学問です。

農学部資源生命科学科応用植物学コースは，「真摯・自由・協同」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として，次のような学生を求めます。

●農学部（資源生命科学科　応用植物学コース）の求める学生像

１．豊かな教養と高い倫理観を身に付け，自立した社会人として行動する意思のある学生
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力〕

２．自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生
〔求める要素：主体性・協働性，思考力・判断力・表現力〕

３．多様な価値観を尊重し，異文化のより深い理解に努めようとする学生
〔求める要素：思考力・判断力・表現力，関心・意欲〕

４．幅広く，豊かな教養とともに，自然界の中の植物としての高度な専門知識を修得する意欲を有し，社会の様々な課題の解決に向けて，論理的・創造的に思考するべく努力する学生
〔求める要素：関心・意欲，思考力・判断力・表現力，知識・技能〕

※高等学校等で修得しておいてもらいたい内容

「国語」：文章を読み解く力，明確な表現力。

「地歴・公民」：幅広く総合的な知識，様々な社会現象を捉える分析力。

「数学」：数学的思考力，表現力，総合力。

「理科」：自然科学の総合的理解力，論理的思考力。

「英語」：読解力，コミュニケーション力，表現力。

「情報」：情報を科学的に理解する力と活用する力。

●入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するために，農学部資源生命科学科応用植物学コースでは，書類審査，模擬講義・レポート，総合問題，面接・口頭試問により，学生の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を多面的に評価します。

農学部　生命機能科学科　応用生命化学コース

応用生命化学は多様性に富んだ生命機能を分子レベルで解明する学問です。

農学部生命機能科学科応用生命化学コースは，「真摯・自由・協同」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として，次のような学生を求めます。

●農学部（生命機能科学科　応用生命化学コース）の求める学生像

１．豊かな教養と高い倫理観を身に付け，自立した社会人として行動する意思のある学生
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力〕

２．自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生
〔求める要素：主体性・協働性，思考力・判断力・表現力〕

３．多様な価値観を尊重し，異文化のより深い理解に努めようとする学生
〔求める要素：思考力・判断力・表現力，関心・意欲〕

４．幅広く，豊かな教養とともに応用生命化学を基盤とした専門的知識を身に付け，様々な生命機能を化学的に分析し，論理的・創造的に思考するべく努力する学生
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，関心・意欲〕

※高等学校等で修得しておいてもらいたい内容

「国語」：文章を読み解く力，明確な表現力。

「地歴・公民」：幅広く総合的な知識，様々な社会現象を捉える分析力。

「数学」：数学的思考力，表現力，総合力。

「理科」：自然科学の総合的理解力，論理的思考力。

「英語」：読解力，コミュニケーション力，表現力。

「情報」：情報を科学的に理解する力と活用する力。

●入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するために，農学部生命機能科学科応用生命化学コースでは，書類審査，模擬講義・レポート，総合問題，実技試験・面接・口頭試問により，学生の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を多面的に評価します。

農学部　生命機能科学科　応用機能生物学コース

応用機能生物学は，多様な環境下における生命現象の解明に基づき，その知見を持続可能で安全な生物生産システムの創造へとつなげる学問です。

農学部生命機能科学科応用機能生物学コースは，「真摯・自由・協同」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として，次のような学生を求めます。

●農学部（生命機能科学科　応用機能生物学コース）の求める学生像

１．豊かな教養と高い倫理観を身に付け，自立した社会人として行動する意思のある学生
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力〕

２．自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生
〔求める要素：主体性・協働性，思考力・判断力・表現力〕

３．多様な価値観を尊重し，異文化のより深い理解に努めようとする学生
〔求める要素：思考力・判断力・表現力，関心・意欲〕

４．応用機能生物学を基盤とした専門的知識を身に付け，社会の様々な出来事を分析し，論理的・創造的に思考するべく努力する学生
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，関心・意欲〕

※高等学校等で修得しておいてもらいたい内容

「国語」：文章を読み解く力，明確な表現力。

「地歴・公民」：幅広く総合的な知識，様々な社会現象を捉える分析力。

「数学」：数学的思考力，表現力，総合力。

「理科」：自然科学の総合的理解力，論理的思考力。

「英語」：読解力，コミュニケーション力，表現力。

「情報」：情報を科学的に理解する力と活用する力。

●入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するために，農学部生命機能科学科応用機能生物学コースでは，書類審査，模擬講義・レポート，総合問題，課題提示・プレゼンテーション・面接・口頭試問により，学生の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を多面的に評価します。

海洋政策科学部 海洋政策科学科
海洋基礎科学領域･海洋応用科学領域･海洋ガバナンス領域

海洋政策科学部海洋政策科学科の海洋基礎科学領域，海洋応用科学領域および海洋ガバナンス領域は，海洋リテラシーを含めた広範な教養知識および自然科学，科学技術，社会科学の専門知識を持った海のグローバルリーダーおよびエキスパートとして国際海事社会の中で活躍できる人材を育成します。特に，本専門領域での学びを志望する学生には，将来の我が国の海洋政策や技術推進の先頭に立って海洋社会を牽引する高い能力が必要です。したがって，海洋に関する強い興味や自然科学，科学技術，社会科学に関する勉学への意欲に満ち，様々な課題の抽出と解決を楽しみながら全うできる精神力を持ち，判断力，行動力，および協働性に優れた学生が求められます。そのため，「志」特別選抜では，特に本学部のアドミッション・ポリシーに沿ってより具体性を持たせた次のような学生を求めます。

●海洋政策科学部（海洋政策科学科　海洋基礎科学領域・海洋応用科学領域・海洋ガバナンス領域）の求める学生像

１．海洋に関する自然科学，科学技術，地球規模の物流・輸送や企業マネジメント，海洋に関する国際ルールに興味がある学生
〔求める要素：関心・意欲〕

２．豊かな教養と高い倫理観，品格，豊かな感性を身につけ，海のグローバルリーダーおよびエキスパートとして海事・海洋社会で活躍したい強い意思を持つ学生
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，主体性・協働性〕

３．自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生
〔求める要素：思考力・判断力・表現力，主体性・協働性〕

４．多様な価値観を尊重し，異文化のより深い理解に努めようとする学生
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，関心・意欲〕

※高等学校等で修得しておいてもらいたい内容

「国語」：文章を読み解く力，明確な表現力。

「地歴・公民」：幅広く総合的な知識，様々な社会現象を捉える分析力。

「数学」：数学的思考力，表現力，総合力。

「理科」：自然科学の総合的理解力，論理的思考力。

「英語」：読解力，コミュニケーション力，表現力。

「情報」： 情報を科学的に理解する力と活用する力。

●入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するために，海洋政策科学部（海洋政策科学科　海洋基礎科学領域・海洋応用科学領域・海洋ガバナンス領域）では書類審査，模擬講義・レポート，総合問題，プレゼンテーション，面接・口頭試問により，学生の得意とする分野あるいは最も力を入れてきた活動とその成果，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を多面的に評価します。

海洋政策科学部 海洋政策科学科
海技ライセンスコース 航海学領域･機関学領域

海洋政策科学部海洋政策科学科の海技ライセンスコースは，海洋リテラシーを含めた広範な教養知識および船舶職員に求められる能力を基礎として，海のグローバルリーダーおよびエキスパートとして国際海事社会の中で活躍できる人材を育てることを目指しています。特に，本コースを志望する学生には，海技士ライセンスを得るのに必要な船舶・運航に関する実践的な知識・技術・手法を高いレベルで修得することが求められます。したがって，船舶に対する興味やマネジメントに関する勉学への意欲を持ち，長期の船舶実習を楽しみながら全うできる精神力を持ち，判断力，行動力，および協働性に優れた学生が求められます。そのために，本コースの「志」特別選抜では，特に本学部のアドミッション・ポリシーに沿ってより具体性を持たせた次のような学生を求めます。

●海洋政策科学部（海洋政策科学科　海技ライセンスコース 航海学領域・機関学領域）の求める学生像

１．海技士ライセンス（航海・機関）資格の取得とともに，地球規模の物流・輸送や企業マネジメント，海洋に関する国際ルールに興味がある学生
〔求める要素：関心・意欲〕

２．豊かな教養と高い倫理観，品格，豊かな感性を身につけ，海のグローバルリーダーおよびエキスパートとして海事・海洋社会で活躍したい強い意思を持つ学生
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，主体性・協働性〕

３．自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生
〔求める要素：思考力・判断力・表現力，主体性・協働性〕

４．多様な価値観を尊重し，異文化のより深い理解に努めようとする学生
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，関心・意欲〕

※高等学校等で修得しておいてもらいたい内容
「国語」：文章を読み解く力，明確な表現力。
「地歴・公民」：幅広く総合的な知識，様々な社会現象を捉える分析力。
「数学」：数学的思考力，表現力，総合力。
「理科」：自然科学の総合的理解力，論理的思考力。
「英語」：読解力，コミュニケーション力，表現力。
「情報」： 情報を科学的に理解する力と活用する力。

●入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するために，海洋政策科学部（海洋政策科学科　海技ライセンスコース 航海学領域・機関学領域）では書類審査，模擬講義・レポート，総合問題，プレゼンテーション，面接・口頭試問により，学生の得意とする分野あるいは最も力を入れてきた活動とその成果，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を多面的に評価します。

２．募集人員

学部	学科	専攻・コース・領域	募集人員
文学部	人文学科		３人
国際人間科学部	環境共生学科		７人
法学部	法律学科		３人
医学部	保健学科	看護学専攻	７人
		検査技術科学専攻	２人
		理学療法学専攻	２人
		作業療法学専攻	２人
工学部	建築学科		２人
	市民工学科		２人
	電気電子工学科		２人
	機械工学科		２人
	応用化学科		３人
	情報知能工学科		５人
農学部	食料環境システム学科	生産環境工学コース	２人
		食料環境経済学コース	２人
	資源生命科学科	応用動物学コース	１人
		応用植物学コース	２人
	生命機能科学科	応用生命化学コース	１人
		応用機能生物学コース	３人
海洋政策科学部	海洋政策科学科	海洋基礎科学領域	５人
		海洋応用科学領域	
		海洋ガバナンス領域	
		海技ライセンスコース 航海学領域	１０人
		海技ライセンスコース 機関学領域	
合　　計			６８人

（注）選抜の結果によっては，合格者が募集人員に対し増減する場合があります。合格者が募集人員に満たなかった場合は，一般選抜前期日程及び後期日程で調整します。

３．入試日程

<table>
<tr><th>学　部</th><th>学　科</th><th>専攻・コース・領域</th><th>出願期間</th><th>第１次選抜
【注 1】</th><th>第１次選抜
合格発表</th><th>最終選抜
【注 2】</th><th>最終選抜
合格者発表</th></tr>
<tr><td>文　学　部</td><td>人 文 学 科</td><td></td><td rowspan="20">９月２日
(月)
～
９月６日
(金)</td><td>９月 29 日(日)</td><td rowspan="20">10 月 23 日
(水)</td><td rowspan="20">11 月２日(土)</td><td rowspan="20">11 月 28 日(木)</td></tr>
<tr><td>国際人間科学部</td><td>環境共生学科</td><td></td><td>９月 28 日(土)</td></tr>
<tr><td>法　学　部</td><td>法 律 学 科</td><td></td><td>９月 29 日(日)</td></tr>
<tr><td rowspan="4">医　学　部</td><td rowspan="4">保 健 学 科</td><td>看 護 学 専 攻</td><td rowspan="7">９月 28 日(土)</td></tr>
<tr><td>検査技術科学専攻</td></tr>
<tr><td>理学療法学専攻</td></tr>
<tr><td>作業療法学専攻</td></tr>
<tr><td rowspan="6">工　学　部</td><td>建 築 学 科</td><td rowspan="6"></td></tr>
<tr><td>市 民 工 学 科</td></tr>
<tr><td>電気電子工学科</td></tr>
<tr><td>機 械 工 学 科</td></tr>
<tr><td>応 用 化 学 科</td></tr>
<tr><td>情報知能工学科</td></tr>
<tr><td rowspan="6">農　学　部</td><td rowspan="2">食料環境ｼｽﾃﾑ学科</td><td>生産環境工学ｺｰｽ</td></tr>
<tr><td>食料環境経済学ｺｰｽ</td><td>９月 29 日(日)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">資源生命科学科</td><td>応用動物学ｺｰｽ</td><td rowspan="4">９月 28 日(土)</td></tr>
<tr><td>応用植物学ｺｰｽ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">生命機能科学科</td><td>応用生命化学ｺｰｽ</td></tr>
<tr><td>応用機能生物学ｺｰｽ</td></tr>
<tr><td rowspan="5">海洋政策科学部</td><td rowspan="5">海洋政策科学科</td><td>海洋基礎科学領域</td><td rowspan="5">【理系科目重視型】
９月 28 日(土)

【文系科目重視型】
９月 29 日(日)</td></tr>
<tr><td>海洋応用科学領域</td></tr>
<tr><td>海洋ｶﾞﾊﾞﾅﾝｽ領域</td></tr>
<tr><td>海技ﾗｲｾﾝｽｺｰｽ
航海学領域</td></tr>
<tr><td>海技ﾗｲｾﾝｽｺｰｽ
機関学領域</td></tr>
</table>

【注1】天候等の理由により，第１次選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日【10月５日（土）】に実施します。

【注2】国際人間科学部環境共生学科最終選抜において，第１次選抜合格者数によっては11月３日（日）も実施する場合があります。

４．入学者選抜方法等

【文学部】

■募集人員

３人

■出願資格

次のいずれかを満たすもの

（１）高等学校又は中等教育学校を令和４年４月から令和７年３月までに卒業又は卒業見込みの者

（２）通常の課程による12年の学校教育を令和４年４月から令和７年３月までに修了又は修了見込みの者

■出願要件

次のすべてを満たすもの

（１）文学部での勉学を強く志望し，合格した場合は入学することを確約できる者

（２）調査書における「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者

■提出書類

調査書	文部科学省の定めた様式により，高等学校等において作成し，厳封したもの
志望理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの
活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの

＊「志望理由書」「活動報告書」の様式及び作成については，本学ホームページ「神戸大学受験生ナビ」内の「出願時における提出書類作成の手引き」を参照してください。

■選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（文系）」「総合問題（文系）」「小論文」「面接・口頭試問」の結果に基づき，第１次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

■第１次選抜

「書類審査」「模擬講義・レポート（文系）」「総合問題（文系）」を課し，その結果を総合して第１次選抜合格者を決定します。「書類審査」では，調査書，志望理由書，活動報告書から，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。「模擬講義・レポート（文系）」では，講義を受講させ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。「総合問題（文系）」では，高等学校全般の学習を前提として，人文学を学ぶ上で必要な日本語や英語の読解力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述式を主とした出題をします。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

試験区分	**書類審査**	**模擬講義・レポート（文系）**	**総合問題（文系）**	合計
配点	100点	200点	300点	600点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
９月29日（日） ［予備日:10月５日(土)］	模擬講義・レポート（文系）	9:30-11:30	神戸大学鶴甲第１キャンパス
	総合問題（文系）Ⅰ	12:50-14:50	
	総合問題（文系）Ⅱ	15:30-17:30	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
書類審査	調査書，志望理由書，活動報告書から，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を総合的に評価します。
模擬講義・レポート（文系）	大学で学ぶ主に人文学や社会科学等に関する内容の模擬講義を行い，それに関連した課題を提示し，講義レポートを課します。 講義レポートでは，講義内容を理解し，知識を活用する力や文章表現力等を通して，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。
総合問題（文系）	高等学校での学習を前提とし，人文学を学ぶ上で必要な日本語や英語の読解力・判断力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述形式を主とした出題をします。そこから「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

■最終選抜

第１次選抜合格者に対して，最終選抜を行います。最終選抜では「小論文」「面接・口頭試問」を課し，その結果を総合して最終合格者を決定します。「小論文」では，人文学に関する諸問題について論述させ，志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。「面接・口頭試問」では，提出書類を参考に文学部での学びに関する質疑応答を行い，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を評価します。

試験区分	小論文	面接・口頭試問	合計
配点	100点	100点	200点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
11月２日（土）	小論文	9:30-11:30	神戸大学文学部学舎 （六甲台第２キャンパス）
	面接・口頭試問	13:00-16:00	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
小論文	人文学に関する諸問題について，課題を提示し論述させ，志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。
面接・口頭試問	面接・口頭試問は個人単位で行い,提出書類を参考に，志望理由や入学後の修学計画等について人文学的内容を含む質疑応答を行い,「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を評価します。

【国際人間科学部　環境共生学科】

■募集人員

７人

■出願資格

次のいずれかを満たすもの

（１）高等学校又は中等教育学校（以下，「高等学校等」という。）を令和４年４月から令和７年３月までに卒業又は卒業見込みの者

（２）通常の課程による12年の学校教育を令和４年４月から令和７年３月までに修了又は修了見込みの者

■出願要件

次のすべてを満たすもの

（１）国際人間科学部環境共生学科環境自然科学プログラムあるいは環境数理科学プログラムでの勉学を強く志望し，合格した場合は入学することを確約できる者

（２）数学Ⅱ・数学Ⅲ，数学Ａ，数学Ｂ，数学Ｃ（理数科にあっては，理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ，理数数学特論）及び理科（物理，化学，生物，地学（理数科にあっては理数物理，理数化学，理数生物，理数地学）から２科目以上）を履修し単位を修得しているか，又は入学時までに単位を修得見込みの者

＊上記科目を高等学校等で履修できない場合は，個別に判断します。

＊国際人間科学部環境共生学科総合型選抜との併願はできないため，十分考慮の上，出願してください。

（３）次のいずれか一つまたは複数の経験を持つ者

１．高等学校等で行った理数系の課題研究や自然科学的あるいは数理科学的研究活動

２．国際レベル又は日本全国レベルの学会や科学コンクール等における受賞

３．学術雑誌等における研究論文の発表

■提出書類

調査書	文部科学省の定めた様式により，高等学校等において作成し，厳封したもの
志望理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの
活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの 次のいずれか一つ又は複数の項目に該当する書類を添えて提出してください。 （１）高等学校等で行った理数系の課題研究や自然科学的あるいは数理科学的研究活動の内容をまとめた論文の写し （２）国際レベル又は日本全国レベルの学会や科学コンクール等における受賞等を証明する書類 （３）学術雑誌等に発表した研究論文の写し

＊「志望理由書」「活動報告書」の様式及び作成については，本学ホームページ「神戸大学受験生ナビ」内の「出願時における提出書類作成の手引き」を参照してください。

■選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「研究能力審査」の結果に基づき，第１次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。最終選抜合格者の判定は，最終選抜の成績のみで選抜します。

■第１次選抜

第１次選抜の合格者は，募集人員の２倍程度とします。「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し，その結果を総合して第１次選抜合格者を決定します。「書類審査」では，調査書，志望理由書，活動報告書から，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。「模擬講義・レポート（理系）」では，講義を受講させ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。「総合問題（理系）」では，高等学校全般の学習を前提として，環境共生学を学ぶ上で必要な理科・数学に関する基礎的な知識・理解力，英語の読解力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述式を主とした出題をします。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

試験区分	書類審査	模擬講義・レポート（理系）	総合問題（理系）	合計
配点	100点	150点	350点	600点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
９月28日（土） ［予備日：10月５日(土)］	模擬講義・レポート（理系）	9:30-11:30	神戸大学鶴甲第１キャンパス
	総合問題（理系）Ⅰ	12:50-14:50	
	総合問題（理系）Ⅱ	15:30-17:30	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
書類審査	調査書，志望理由書，活動報告書から，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。
模擬講義・レポート（理系）	大学で学ぶ主に自然科学に関する内容等に関する模擬講義を行い，それに関連した課題を提示し，講義レポートを課します。 講義レポートでは，講義内容を理解し，知識を活用する力や文章表現力等を通して，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。
総合問題（理系）	高等学校全般での学習を前提として，環境共生学を学ぶ上で必要な理科・数学に関する基礎的な知識・理解力，英語の読解力・文章表現力，論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述式を主とした出題をします。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

■最終選抜

第１次選抜合格者に対して，プレゼンテーション要旨の事前提出及びプレゼンテーション用ポスターの持参を求め，最終選抜を行います。最終選抜では，「ポスタープレゼンテーション」「面接・口頭試問」「総括レポート」

から構成される「研究能力審査」を課します。最終選抜合格者の判定は，最終選抜の成績のみで選抜します。「研究能力審査」は，活動報告書に基づき，研究発表・質疑応答・研究課題の多面的な検討など，学術研究を進める際の活動を順次課し，それらを総合して志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」を評価します。「ポスタープレゼンテーション」では，活動報告書に基づく自然科学的あるいは数理科学的研究活動のプレゼンテーションを課します。「面接・口頭試問」は個人単位で行い，「面接」では，調査書，志望理由書，活動報告書に記載の内容について質疑応答を行い，「口頭試問」では，ポスタープレゼンテーションの内容及び学びたい専門分野に関連する自然科学的あるいは数理科学的な内容を含む質疑応答を行います。「総括レポート」では，ポスタープレゼンテーション・口頭試問で受けた質問・指摘事項に関する志願者の考えや今後の展開などの論述を課します。

試験区分	研究能力審査	合計
配点	100点	100点

日程	試験区分		実施時間	実施場所
11月２日（土）	研究能力審査	ポスタープレゼンテーション	9:30-12:00	神戸大学国際人間科学部鶴甲第二キャンパス学舎
		面接・口頭試問，総括レポート	13:00-17:00	

※第１次選抜合格者数によっては11月３日（日）も研究能力審査
（ポスタープレゼンテーション，面接・口頭試問，総括レポート）を実施する場合があります。
※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

なお，「面接・口頭試問」「総括レポート」については，面接・口頭試問の終了者から総括レポートの論述を開始し，総括レポートを含むすべての試験が終了した後に順次解散となります。

選抜方法	選抜内容
研究能力審査	「研究能力審査」は，「ポスタープレゼンテーション」「面接・口頭試問」「総括レポート」から構成され，活動報告書に基づき，研究発表・質疑応答・研究課題の多面的な検討など，学術研究を進める際の活動を順次課し，それらを総合して志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」を評価します。 **ポスタープレゼンテーション** 第１次選抜合格者に対して，活動報告書に基づく研究について，ポスターセッション形式での発表を課します。ポスターセッションでは，10 分程度の発表と 10 分程度の質疑応答からなる１回 20 分程度の審査を，審査委員を入れ替えて 2〜3 回実施します。 ＊ポスターの大きさは，縦 150cm 以内，横 87cm 以内とします。 ＊第１次選抜合格者に対して送付する最終選抜受験者心得にて指定する期日までに，以下の書類の提出が必要です。 (a) ポスター発表の表題 (b) ポスター発表のアブストラクト（簡単な概要）400 字以内

	面接・口頭試問 「面接」では，調査書，志望理由書，活動報告書に記載の内容について質疑応答を行い，「口頭試問」では，ポスタープレゼンテーションの内容及び学びたい専門分野に関連する自然科学的あるいは数理科学的な内容を含む質疑応答を行います。 総括レポート 「総括レポート」では，研究発表・質疑応答に続く研究課題の多面的な検討の観点からの論述（60 分間）を課します。具体的には，ポスタープレゼンテーション・口頭試問で受けた自然科学的あるいは数理科学的な立場からの質問・指摘事項に関する志願者の意見とともに，その研究内容を発展させるための手立てや考えの記述を求めます。

【法学部】

■募集人員

３人

■出願資格

次のいずれかを満たすもの

（１）高等学校又は中等教育学校を令和６年４月から令和７年３月までに卒業又は卒業見込みの者

（２）通常の課程による12年の学校教育を令和６年４月から令和７年３月までに修了又は修了見込みの者

■出願要件

次のすべてを満たすもの

（１）法学部での勉学を強く志望し，合格した場合は入学することを確約できる者

（２）調査書における「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者

■提出書類

調査書	文部科学省の定めた様式により，高等学校等において作成し，厳封したもの
志望理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの
活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの ※活動報告書の記載内容を客観的に証明する書類を併せて提出してください。 例えば，社会貢献活動，国際的活動，リーダーシップ経験（生徒会長等），高等学校等で行った課題研究，全国レベルの大会の入賞等の活動等を証明する書類や,高い外国語能力を証明する書類（TOEFL iBT,TOEIC L&R, TOEIC S&W,IELTS,実用英語技能検定，「GTEC」CBT, TestDaF, DALF, HSK等）を提出してください

＊「志望理由書」「活動報告書」の様式及び作成については，本学ホームページ「神戸大学受験生ナビ」内の「出願時における提出書類作成の手引き」を参照してください。

■選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（文系）」「総合問題（文系）」「面接・口頭試問」の結果に基づき，第１次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

■第１次選抜

「書類審査」「模擬講義・レポート（文系）」「総合問題（文系）」を課し，その結果を総合して第１次選抜合格者を決定します。「書類審査」では，調査書，志望理由書，活動報告書から，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を評価します。「模擬講義・レポート（文系）」では，講義を受講させ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。「総合問題（文系）」では，高等学校全般の学習を前提として，法学・政治学を学ぶ上で必要な日本語や英語の読解力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述式を主とした出題をします。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

試験区分	書類審査	模擬講義・レポート（文系）	総合問題（文系）	合計
配点	200点	200点	200点	600点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
９月29日（日） ［予備日:10月５日(土)］	模擬講義・レポート（文系）	9:30-11:30	神戸大学鶴甲第１キャンパス
	総合問題（文系）Ⅰ	12:50-14:50	
	総合問題（文系）Ⅱ	15:30-17:30	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
書類審査	調査書，志望理由書，活動報告書から，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を総合的に評価します。
模擬講義・レポート（文系）	大学で学ぶ主に人文学や社会科学等に関する内容の模擬講義を行い，それに関連した課題を提示し，講義レポートを課します。 講義レポートでは，講義内容を理解し，知識を活用する力や文章表現力等を通して，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。
総合問題（文系）	高等学校での学習を前提とし,法学・政治学を学ぶ上で必要な日本語や英語の読解力・判断力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述形式を主とした出題をします。そこから「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

■最終選抜

第１次選抜合格者に対して，最終選抜を行います。最終選抜では,「面接・口頭試問」を課し，第１次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。「面接・口頭試問」では，提出書類を参考に質疑応答を行い，志願者の「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を評価します。

試験区分	面接・口頭試問	第１次選抜の結果	合計
配点	400点	600点	1,000点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
11月２日（土）	面接・口頭試問	11:00-17:00	神戸大学法学部学舎 （六甲台第１キャンパス）

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
面接・口頭試問	面接・口頭試問は個人単位で行い，面接では，志望理由書及び活動報告書の記載内容について質疑応答を行い，口頭試問では，時事問題等に関する短い文章を読ませて，その内容に関する質疑応答を行い，「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を評価します。

【医学部　保健学科　看護学専攻】

■募集人員

７人

■出願資格

高等学校又は中等教育学校を令和５年４月から令和７年３月までに卒業又は卒業見込みの者

■出願要件

次のすべてを満たすもの

（１）医学部保健学科看護学専攻での勉学を強く志望し，合格した場合は入学することを確約できる者

（２）調査書における「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者

■提出書類

調査書	文部科学省の定めた様式により，高等学校等において作成し，厳封したもの
志望理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの
活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの

＊「志望理由書」「活動報告書」の様式及び作成については，本学ホームページ「神戸大学受験生ナビ」内の「出願時における提出書類作成の手引き」を参照してください。

■選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート(理系)」「総合問題（理系）」「課題提示・発表資料作成・プレゼンテーション」「面接」の結果に基づき，第１次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

■第１次選抜

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系)」「総合問題（理系)」を課し，その結果を総合して第１次選抜合格者を決定します。「書類審査」では，調査書，志望理由書，活動報告書から，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。「模擬講義・レポート（理系)」では，講義を受講させ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。「総合問題（理系)」では，高等学校全般の学習を前提として，看護学を学ぶ上で必要な理科・数学に関する基礎的な知識・理解力，英語の読解力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述式を主とした出題をします。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

試験区分	書類審査	模擬講義・レポート（理系）	総合問題（理系）	合計
配点	100点	150点	350点	600点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
９月28日（土） ［予備日:10月５日(土)］	模擬講義・レポート（理系）	9:30-11:30	神戸大学鶴甲第１キャンパス
	総合問題（理系）Ⅰ	12:50-14:50	
	総合問題（理系）Ⅱ	15:30-17:30	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
書類審査	調査書，志望理由書，活動報告書から，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を総合的に評価します。
模擬講義・レポート（理系）	大学で学ぶ主に自然科学に関する内容等に関する模擬講義を行い，それに関連した課題を提示し，講義レポートを課します。 講義レポートでは，講義内容を理解し，知識を活用する力や文章表現力等を通して，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。
総合問題（理系）	高等学校での学習を前提とし，看護学を学ぶ上で必要な理科・数学に関する知識・理解力，英語の読解力・文章表現力，論理的思考力等を問う記述形式を主とした出題をします。そこから「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

■最終選抜

第１次選抜合格者に対して，最終選抜を行います。最終選抜では，「課題提示・発表資料作成・プレゼンテーション」「面接」を課し，第１次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。「課題提示・発表資料作成・プレゼンテーション」では，「保健・医療・福祉に関する課題」を提示し，プレゼンテーション後の質疑応答により，志願者の「知識・技能」「思考力」「判断力」「表現力」「主体性」「関心・意欲」「専攻への適性」などを評価します。「面接」では，提出書類を参考資料とし，質疑応答を行い，志願者の「表現力」「判断力」「主体性」「協働性」「専攻への適性」などを評価します。

試験区分	課題提示・発表資料作成・プレゼンテーション	面接	第１次選抜の結果	合計
配点	150点	150点	600点	900点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
11月２日（土）	課題提示・発表資料作成	9:30-10：30	神戸大学医学部保健学科学舎（名谷キャンパス）
	プレゼンテーション	10:50-12:50	
	面接	13:40-15:40	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
課題提示・発表資料作成・プレゼンテーション	第１次選抜合格者に対し，当日，保健・医療・福祉に関する課題を提示します。1 時間で，指定された書式にて発表資料を作成します。発表資料をもとに，15 分程度のプレゼンテーションを行った後，質疑応答を行い「知識・技能」「思考力」「判断力」「表現力」「主体性」「関心・意欲」「専攻への適性」などを評価します。
面接	面接は個人面接で行い，提出書類を参考に，志望理由や入学後の修学計画について質疑応答を行い，「表現力」「判断力」「主体性」「協働性」「専攻への適性」などを評価します。

【医学部　保健学科　検査技術科学専攻】

■募集人員

２人

■出願資格

高等学校又は中等教育学校を令和５年４月から令和７年３月までに卒業又は卒業見込みの者

■出願要件

次のすべてを満たすもの

（１）医学部保健学科検査技術科学専攻での勉学を強く志望し，合格した場合は入学することを確約できる者

（２）数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学Ａ，数学Ｂ，数学Ｃ（理数科にあっては，理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ，理数数学特論）及び，以下から２科目以上{物理，化学，生物（理数科にあっては，理数物理，理数化学，理数生物）}を履修し単位を修得しているか，又は入学時までに単位を修得見込みの者

※上記科目を高等学校等で履修できない場合は，個別に判断します。

（３）調査書における「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者

■提出書類

調査書	文部科学省の定めた様式により，高等学校等において作成し，厳封したもの
志望理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの
活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの

＊「志望理由書」「活動報告書」の様式及び作成については，本学ホームページ「神戸大学受験生ナビ」内の「出願時における提出書類作成の手引き」を参照してください。

■選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート(理系)」「総合問題（理系）」「課題提示・プレゼンテーション」「面接」の結果に基づき，第１次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

■第１次選抜

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系)」「総合問題（理系)」を課し，その結果を総合して第１次選抜合格者を決定します。「書類審査」では，調査書，志望理由書，活動報告書から，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。「模擬講義・レポート（理系)」では，講義を受講させ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。「総合問題（理系)」では，高等学校全般の学習を前提として，検査技術科学を学ぶ上で必要な理科・数学に関する基礎的な知識・理解力，英語の読解力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述式を主とした出題をします。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

試験区分	**書類審査**	**模擬講義・レポート（理系）**	**総合問題（理系）**	合計
配点	100点	150点	350点	600点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
9月28日（土） ［予備日:10月５日(土)］	模擬講義・レポート（理系）	9:30-11:30	神戸大学鶴甲第１キャンパス
	総合問題（理系）Ⅰ	12:50-14:50	
	総合問題（理系）Ⅱ	15:30-17:30	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
書類審査	調査書，志望理由書，活動報告書から，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を総合的に評価します。
模擬講義・レポート（理系）	大学で学ぶ主に自然科学に関する内容等に関する模擬講義を行い，それに関連した課題を提示し，講義レポートを課します。 講義レポートでは，講義内容を理解し，知識を活用する力や文章表現力等を通して，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。
総合問題（理系）	高等学校での学習を前提とし，検査技術科学を学ぶ上で必要な理科・数学に関する知識・理解力，英語の読解力・文章表現力，論理的思考力等を問う記述形式を主とした出題をします。そこから「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

■最終選抜

第１次選抜合格者に対して，最終選抜を行います。最終選抜では，「課題提示・プレゼンテーション」「面接」を課し，第１次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。「課題提示・プレゼンテーション」では，「医療と臨床検査に関する課題」を提示し，プレゼンテーション後の質疑応答により，志願者の「理解力」「問題発見力」「問題解決力」「表現力」「判断力」「志望専攻への適性」を評価します。「面接」では，提出書類を参考資料とし，質疑応答により志願者の「意欲」「積極性」「理解力」「判断力」「表現力」「協調性」「志望専攻への適性」を評価します。

試験区分	課題提示・プレゼンテーション	面接	第１次選抜の結果	合計
配点	400点	200点	600点	1,200点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
11月２日（土）	課題提示・発表資料作成	9:30-10:30	神戸大学医学部保健学科学舎（名谷キャンパス）
	プレゼンテーション	10:50-12:50	
	面接	13:40-15:00	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
課題提示・プレゼンテーション	第1次選抜合格者に対し，医療に関する課題を当日に提示し，指定された書式にて作成した資料をもとに10分～15分程度のプレゼンテーションを行った後，質疑応答を行い，入学後に必要な「理解力」「問題発見力」「問題解決力」「表現力」「判断力」「志望専攻への適正」を評価します。
面接	面接は15分程度個人面接で行い，提出書類を参考に，医療・臨床検査に対する関心や考え方，志望理由，入学後の修学計画について質疑応答を行い，「意欲」「積極性」「理解力」「判断力」「表現力」「協調性」「志望専攻への適正」を評価します。

【医学部　保健学科　理学療法学専攻】

■募集人員

２人

■出願資格

高等学校又は中等教育学校を令和５年４月から令和７年３月までに卒業又は卒業見込みの者

■出願要件

次のすべてを満たすもの

（１）医学部保健学科理学療法学専攻での勉学を強く志望し，合格した場合は入学することを確約できる者

（２）調査書における「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者

（３）理科の物理，化学，生物（理数科にあっては，理数物理，理数化学及び理数生物）のうち２科目以上履修しており，かつ「理科の学習成績の状況」が4.0以上の者（理数科にあっては，理数の理科に関する科目の評定の平均値が4.0以上の者）

■提出書類

調査書	文部科学省の定めた様式により，高等学校等において作成し，厳封したもの
志望理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの
活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの（活動は高等学校等入学前のものは除きます）

＊「志望理由書」「活動報告書」の様式及び作成については，本学ホームページ「神戸大学受験生ナビ」内の「出願時における提出書類作成の手引き」を参照してください。

■選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「面接」の結果に基づき，第１次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

■第１次選抜

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し，その結果を総合して第１次選抜合格者を決定します。「書類審査」では，調査書，志望理由書，活動報告書から，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。「模擬講義・レポート（理系）」では，講義を受講させ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。「総合問題（理系）」では，高等学校全般の学習を前提として，理学療法学を学ぶ上で必要な理科・数学に関する基礎的な知識・理解力，英語の読解力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述式を主とした出題をします。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

試験区分	**書類審査**	**模擬講義・レポート（理系）**	**総合問題（理系）**	合計
配点	100点	150点	350点	600点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
９月28日（土） ［予備日:10月５日(土)］	模擬講義・レポート（理系）	9:30-11:30	神戸大学鶴甲第１キャンパス
	総合問題（理系）Ⅰ	12:50-14:50	
	総合問題（理系）Ⅱ	15:30-17:30	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
書類審査	調査書，志望理由書，活動報告書から，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を総合的に評価します。
模擬講義・レポート（理系）	大学で学ぶ主に自然科学に関する内容等に関する模擬講義を行い，それに関連した課題を提示し，講義レポートを課します。 講義レポートでは，講義内容を理解し，知識を活用する力や文章表現力等を通して，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。
総合問題（理系）	高等学校での学習を前提とし，理学療法学を学ぶ上で必要な理科・数学に関する知識・理解力，英語の読解力・文章表現力，論理的思考力等を問う記述形式を主とした出題をします。そこから「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

■最終選抜

第１次選抜合格者に対して，最終選抜を行います。最終選抜では，「面接」を課し，第１次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。「面接」では提出書類を参考資料とし質疑応答を行い，志願者の「志望動機」「将来の方向性，理学療法士となる資質」を評価します。

試験区分	面接	第１次選抜の結果	合計
配点	600点	600点	1,200点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
11月２日（土）	面接	9:30-12:00	神戸大学医学部保健学科学舎（名谷キャンパス）

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
面接	面接は個人面接で行い，提出書類を参考に，志望理由や入学後の修学計画や卒業研究について質疑応答を行い，「志望動機」「将来の方向性，理学療法士となる資質」を評価します。

【医学部　保健学科　作業療法学専攻】

■募集人員

２人

■出願資格

高等学校又は中等教育学校を令和５年４月から令和７年３月までに卒業又は卒業見込みの者

■出願要件

次のすべてを満たすもの

（１）医学部保健学科作業療法学専攻での勉学を強く志望し，合格した場合は入学することを確約できる者

（２）調査書における「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者

■提出書類

調査書	文部科学省の定めた様式により，高等学校等において作成し，厳封したもの
志望理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの
活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの（活動は高等学校等入学前のものは除きます）

＊「志望理由書」「活動報告書」の様式及び作成については，本学ホームページ「神戸大学受験生ナビ」内の「出願時における提出書類作成の手引き」を参照してください。

■選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「模擬実習」「面接」の結果に基づき，第１次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

■第１次選抜

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し，その結果を総合して第１次選抜合格者を決定します。「書類審査」では，調査書，志望理由書，活動報告書から，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。「模擬講義・レポート（理系）」では，講義を受講させ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。「総合問題（理系）」では，高等学校全般の学習を前提として，作業療法学を学ぶ上で必要な理科・数学に関する基礎的な知識・理解力，英語の読解力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述式を主とした出題をします。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

試験区分	**書類審査**	**模擬講義・レポート（理系）**	**総合問題（理系）**	合計
配点	100点	150点	350点	600点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
９月28日（土） ［予備日:10月５日(土)］	模擬講義・レポート（理系）	9:30-11:30	神戸大学鶴甲第１キャンパス
	総合問題（理系）Ⅰ	12:50-14:50	
	総合問題（理系）Ⅱ	15:30-17:30	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
書類審査	調査書，志望理由書，活動報告書から，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を総合的に評価します。
模擬講義・レポート（理系）	大学で学ぶ主に自然科学に関する内容等に関する模擬講義を行い，それに関連した課題を提示し，講義レポートを課します。 講義レポートでは，講義内容を理解し，知識を活用する力や文章表現力等を通して，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。
総合問題（理系）	高等学校での学習を前提とし，作業療法学を学ぶ上で必要な理科・数学に関する知識・理解力，英語の読解力・文章表現力，論理的思考力等を問う記述形式を主とした出題をします。そこから「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

■最終選抜

第１次選抜合格者に対して，最終選抜を行います。最終選抜では，「模擬実習」「面接」を課し，第１次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。「模擬実習」では，課題（物を作る，ゲームをするなど）の実施と，その後の質疑応答により志願者の「主体性・協働性」「知識・技能」を評価します。「面接」では，提出資料を参考資料として質疑応答を行い，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を評価します。

試験区分	模擬実習	面接	第１次選抜の結果	合計
配点	300点	300点	600点	1,200点

※実施時間及び実施場所等の詳細については，第１次選抜合格者に送付する受験者心得で確認してください。

日程	試験区分	実施時間	実施場所
11月２日（土）	模擬実習	9:30-10:30	神戸大学医学部保健学科学舎（名谷キャンパス）
	面接	11：00-12：00	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
模擬実習	模擬実習では，課題（物を作る，ゲームをするなど）の実施と，その後の質疑応答により志願者の「主体性・協働性」「知識・技能」を評価します。
面接	面接は個人面接で行い，提出書類を参考に，志望理由や入学後の修学計画について質疑応答を行い，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を評価します。

【工学部　建築学科】

■募集人員

２人

■出願資格

次のいずれかを満たすもの

（１）高等学校又は中等教育学校を令和６年４月から令和７年３月までに卒業又は卒業見込みの者

（２）通常の課程による12年の学校教育を令和６年４月から令和７年３月までに修了又は修了見込みの者

■出願要件

次のすべてを満たすもの

（１）工学部建築学科での勉学を強く志望し，合格した場合は入学することを確約できる者

（２）数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学Ａ，数学Ｂ，数学Ｃ（理数科にあっては，理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ，理数数学特論）及び理科の物理，化学（理数科にあっては，理数物理，理数化学）を履修し単位を修得しているか，又は入学時までに単位を修得見込みの者

※上記科目を高等学校等で履修できない場合は，個別に判断します

（３）調査書における「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者

（４）特筆すべき資質・能力を有することを示す書類を提出できる者

■提出書類

調査書	文部科学省の定めた様式により，高等学校等において作成し，厳封したもの
志望理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの
活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの 次のいずれか１つ又は複数の項目に該当する書類を併せて提出し，特筆すべき資質,能力を有することを示してください。 （１）国際レベル又は日本全国レベルの科学的な大会の入賞等を証明する書類 （令和４年４月１日以降の経験に限る） （２）高等学校等で行った課題研究の実績を証明する書類 （例えばスーパーグローバルハイスクール（SGH）又はスーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されている学校においてSGH又はSSHに関連するコースや科目を履修し，得たことを証明する書類） （令和４年４月１日以降の経験に限る） （３）TOEIC L&RあるいはTOEIC L&R IPテストの成績を証明する書類（令和４年４月１日以降受験分のスコアに限る） なお，TOEIC L&R IPテスト(オンライン)は認めません。 （４）TOEFL iBTの成績を証明する書類（出願時において有効期限内のスコアに限る） なお，TOEFL ITPは認めません。 （５）海外研修又は留学の事実を証明する書類

	（令和４年４月１日以降の経験に限る） （６）高度なリーダーシップ経験（生徒会長等）を証明する書類 （令和４年４月１日以降の経験に限る） （７）ボランティア等の社会貢献活動で特筆すべき成果を証明する書類 （令和４年４月１日以降の成果に限る）

＊「志望理由書」「活動報告書」の様式及び作成については，本学ホームページ「神戸大学受験生ナビ」内の「出願時における提出書類作成の手引き」を参照してください。

■選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「小論文」「面接・口頭試問」の結果に基づき，第１次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

■第１次選抜

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し，その結果を総合して第１次選抜合格者を決定します。「書類審査」では，調査書，志望理由書，活動報告書から，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を評価します。「模擬講義・レポート（理系）」では，講義を受講させ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。「総合問題（理系）」では，高等学校全般の学習を前提として，工学部で学ぶ上で必要な理科・数学に関する基礎的な知識・理解力，英語の読解力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述式を主とした出題をします。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

試験区分	書類審査	模擬講義・レポート（理系）	総合問題（理系）	合計
配点	100点	150点	350点	600点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
９月28日（土） ［予備日：10月５日(土)］	模擬講義・レポート（理系）	9:30-11:30	神戸大学鶴甲第１キャンパス
	総合問題（理系）Ⅰ	12:50-14:50	
	総合問題（理系）Ⅱ	15:30-17:30	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
書類審査	調査書，志望理由書，活動報告書から，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を総合的に評価します。
模擬講義・レポート（理系）	大学で学ぶ主に自然科学に関する内容等に関する模擬講義を行い，それに関連した課題を提示し，講義レポートを課します。 講義レポートでは，講義内容を理解し，知識を活用する力や文章表現力等を通して，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

総合問題（理系）	高等学校での学習を前提とし，工学部で学ぶ上で必要な理科・数学に関する知識・理解力，英語の読解力・文章表現力，論理的思考力等を問う記述形式を主とした出題をします。そこから「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

■最終選抜

第１次選抜合格者に対して，最終選抜を行います。最終選抜では，「小論文」「面接・口頭試問」を課し，第１次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。「小論文」では，建築学に関する小論文を論述させ，志願者の「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を評価します。なお，建築学は，計画，構造，環境（音・熱・光を扱う分野）という３つの基礎的学問領域からなっていることに留意してください。「面接・口頭試問」では，提出書類を参考に質疑応答を行い，志願者の「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を評価します。

試験区分	小論文	面接・口頭試問	第１次選抜の結果	合計
配点	200点	200点	600点	1,000点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
11月２日（土）	小論文	10:30-11:30	神戸大学工学部学舎 （六甲台第２キャンパス）
	面接・口頭試問	13:00-16:00	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
小論文	建築学に関する課題を提示し，論述させ，「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を評価します。
面接・口頭試問	面接・口頭試問は個人単位で行い，面接では提出書類を参考に，志望理由やこれまでの活動等について質疑応答を行い，口頭試問では学びたい専門分野について工学的な内容を含む質疑応答を行い，志願者の「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を評価します。

【工学部　市民工学科】

■募集人員

２人

■出願資格

次のいずれかを満たすもの

（１）高等学校又は中等教育学校を令和６年４月から令和７年３月までに卒業又は卒業見込みの者

（２）通常の課程による12年の学校教育を令和６年４月から令和７年３月までに修了又は修了見込みの者

■出願要件

次のすべてを満たすもの

（１）工学部市民工学科での勉学を強く志望し，合格した場合は入学することを確約できる者

（２）数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学Ａ，数学Ｂ，数学Ｃ（理数科にあっては，理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ，理数数学特論）及び理科の物理，化学（理数科にあっては，理数物理，理数化学）を履修し単位を修得しているか，又は入学時までに単位を修得見込みの者

※上記科目を高等学校等で履修できない場合は，個別に判断します。

（３）調査書における数学及び理科の「各教科の学習成績の状況」が4.2以上の者（理数科にあっては，調査書における理数の数学に関する科目及び理数の理科に関する科目の「各教科の学習成績の状況」が4.2以上の者）

（４）自然科学分野における国内外の活動・事業に参加し，顕著な貢献をした者（令和４年４月１日以降の業績に限る）

■提出書類

調査書	文部科学省の定めた様式により，高等学校等において作成し，厳封したもの
志望理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの
活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの 自然科学分野における国内外での活動・事業への参加に関する内容を含んだ証明書類等（令和４年４月１日以降の業績に限る）

＊「志望理由書」「活動報告書」の様式及び作成については，本学ホームページ「神戸大学受験生ナビ」内の「出願時における提出書類作成の手引き」を参照してください。

■選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「小論文」「面接・口頭試問」の結果に基づき第１次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

■第１次選抜

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し，その結果を総合して第１次選抜合格者を決定します。「書類審査」では，調査書，志望理由書，活動報告書から，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を評価します。「模擬講義・レポート（理系）」では，講義を受講さ

せ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。「総合問題（理系）」では，高等学校全般の学習を前提として，工学部で学ぶ上で必要な理科・数学に関する基礎的な知識・理解力，英語の読解力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述式を主とした出題をします。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

試験区分	書類審査	模擬講義・レポート（理系）	総合問題（理系）	合計
配点	100点	150点	350点	600点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
９月28日（土） ［予備日：10月５日（土）］	模擬講義・レポート（理系）	9:30-11:30	神戸大学鶴甲第１キャンパス
	総合問題（理系）Ⅰ	12:50-14:50	
	総合問題（理系）Ⅱ	15:30-17:30	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
書類審査	調査書，志望理由書，活動報告書から，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を総合的に評価します。
模擬講義・レポート（理系）	大学で学ぶ主に自然科学に関する内容等に関する模擬講義を行い，それに関連した課題を提示し，講義レポートを課します。 講義レポートでは，講義内容を理解し，知識を活用する力や文章表現力等を通して，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。
総合問題（理系）	高等学校での学習を前提とし，工学部で学ぶ上で必要な理科・数学に関する知識・理解力，英語の読解力・文章表現力，論理的思考力等を問う記述形式を主とした出題をします。そこから「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

■最終選抜

最終選抜では，「小論文」「面接・口頭試問」を課し，第１次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。「小論文」では，市民工学に関する問題について，自身の考えを論述させ，志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。「面接・口頭試問」では，志望理由書，活動報告書を参考に，志望理由やこれまでの活動内容について質疑応答を行い，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を評価するとともに，市民工学科への入学適性について判断します。

試験区分	小論文	面接・口頭試問	第１次選抜の結果	合計
配点	300点	300点	600点	1,200点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
11月２日（土）	小論文	10:30-11:30	神戸大学工学部学舎 （六甲台第２キャンパス）
	面接・口頭試問	13:00-16:00	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
小論文	市民工学に関する諸問題について課題を提示し論述させ，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。
面接・口頭試問	面接・口頭試問は個人単位で行い，面接では提出書類を参考に，志望理由やこれまでの活動について質疑応答を行い，口頭試問では小論文の解答内容および学びたい専門分野について工学的な内容を含む質疑応答を行い，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を評価します。

【工学部　電気電子工学科】

■募集人員

２人

■出願資格

次のいずれかを満たすもの

（１）高等学校又は中等教育学校を令和６年４月から令和７年３月までに卒業又は卒業見込みの者

（２）通常の課程による12年の学校教育を令和６年４月から令和７年３月までに修了又は修了見込みの者

■出願要件

次のすべてを満たすもの

（１）工学部電気電子工学科での勉学を強く志望し，合格した場合は入学することを確約できる者

（２）数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学Ａ，数学Ｂ，数学Ｃ（理数科にあっては，理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ，理数数学特論）及び理科の物理，化学（理数科にあっては，理数物理，理数化学）を履修し単位を修得しているか，又は入学時までに単位を修得見込みの者

※上記科目を高等学校等で履修できない場合は，個別に判断します。

（３）調査書における「全体の学習成績の状況」が4.0 以上であり，かつ数学及び理科の「各教科の学習成績状況」が4.5以上の者（理数科にあっては，調査書における理数の数学に関する科目及び理数の理科に関する科目の「各教科の学習成績の状況」が4.5以上の者）

（４）自然科学分野における，特筆すべき資質・能力を有することを示す書類を提出できる者

■提出書類

調査書	文部科学省の定めた様式により，高等学校等において作成し，厳封したもの
志望理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの
活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの 自然科学分野における，特筆すべき資質・能力を客観的に示す書類を併せて提出してください。例えば，自然科学分野での，「社会貢献活動」「国際的活動」「学術論文」「全国レベルの大会の入賞」や，「数学・物理オリンピック」「高校生科学技術チャレンジ」「日本学生科学賞」などの活動等です。 また，必要に応じて英語の成績を証明する書類（TOEFL iBTやTOEIC L&Rのスコア，実用英語技能検定の取得状況等）も併せて提出してください。

＊「志望理由書」「活動報告書」の様式及び作成については，本学ホームページ「神戸大学受験生ナビ」内の「出願時における提出書類作成の手引き」を参照してください。

■選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「プレゼンテーション・口頭試問」の結果に基づき，第１次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

■第１次選抜

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し，その結果を総合して第１次選抜合格者を決定します。「書類審査」では，調査書，志望理由書，活動報告書から，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を評価します。「模擬講義・レポート（理系）」では，講義を受講させ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。「総合問題（理系）」では，高等学校全般の学習を前提として，工学部で学ぶ上で必要な理科・数学に関する基礎的な知識・理解力，英語の読解力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述式を主とした出題をします。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

試験区分	書類審査	模擬講義・レポート（理系）	総合問題（理系）	合計
配点	100点	150点	350点	600点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
９月28日（土） ［予備日：10月５日(土)］	模擬講義・レポート（理系）	9:30-11:30	神戸大学鶴甲第１キャンパス
	総合問題（理系）Ⅰ	12:50-14:50	
	総合問題（理系）Ⅱ	15:30-17:30	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
書類審査	調査書，志望理由書，活動報告書から，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を総合的に評価します。
模擬講義・レポート（理系）	大学で学ぶ主に自然科学に関する内容等に関する模擬講義を行い，それに関連した課題を提示し，講義レポートを課します。 講義レポートでは，講義内容を理解し，知識を活用する力や文章表現力等を通して，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。
総合問題（理系）	高等学校での学習を前提とし，工学部で学ぶ上で必要な理科・数学に関する知識・理解力，英語の読解力・文章表現力，論理的思考力等を問う記述形式を主とした出題をします。そこから「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

■最終選抜

第１次選抜合格者に対して，最終選抜を行います。最終選抜では，「プレゼンテーション・口頭試問」を課し，第１次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。ここでは，志望理由書，活動報告書に基づくプレゼンテーションを課し，それに関する質疑応答を行うとともに，口頭試問として，数学及び物理について出題し，科学技術分野での活躍を期待させる志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を有するかを評価します。

試験区分	プレゼンテーション・口頭試問	第１次選抜の結果	合計
配点	600点	600点	1,200点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
11月２日（土）	プレゼンテーション・口頭試問	9:30-14:00	神戸大学工学部学舎 （六甲台第２キャンパス）

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
プレゼンテーション・口頭試問	プレゼンテーションでは，提出された志望理由書，活動報告書に基づき，第１次合格者に対し提示する書式にて作成した資料を最終選抜当日に持参し，5 分程度のプレゼンテーションを行った後，質疑応答を行います。また，口頭試問では数学及び物理について出題します。質問に対して板書による解答を求めることがあります。これにより志願者の科学技術分野での活躍を期待させる「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を有するかを評価します。

【工学部　機械工学科】

■募集人員

２人

■出願資格

次のいずれかを満たすもの

（１）高等学校又は中等教育学校を令和５年４月から令和７年３月までに卒業又は卒業見込みの者

（２）通常の課程による12年の学校教育を令和５年４月から令和７年３月までに修了又は修了見込みの者

■出願要件

次の（１）と（２）を満たし，かつ（３）又は（４）のいずれかを満たすもの

（１）工学部機械工学科での勉学を強く志望し，合格した場合は入学することを確約できる者

（２）数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C（理数科にあっては，理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ，理数数学特論）及び理科の物理，化学（理数科にあっては，理数物理，理数化学）を履修し単位を修得しているか，又は入学時までに単位を修得見込みの者

※上記科目を高等学校等で履修できない場合は，個別に判断します。

（３）調査書における数学及び理科の全ての科目の評定の平均値が4.5以上の者（理数科にあっては，調査書における理数の数学及び理数の理科に関する全ての科目の評定の平均値が4.5以上の者）

（４）自然科学分野における特筆すべき資質・能力（外国語の能力を含む）を有することを示す書類を提出できる者

■提出書類

調査書	文部科学省の定めた様式により，高等学校等において作成し，厳封したもの
志望理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの
活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの 次の項目に該当する書類がある場合は併せて提出し，自然科学分野における特筆すべき資質,能力を有することを示してください。 なお，出願要件（４）に該当する者については，少なくとも１つは提出してください。 ただし，書類は全て令和４年４月１日以降の活動や経験，成績に限るものとします。 （１）国際レベル又は日本全国レベルの科学的な大会の入賞等を証明する書類 （２）学術雑誌や学会等における研究発表を証明する書類 （３）高等学校等で行った課題研究の実績を証明する書類 （４）外国語の能力を証明する書類（下記，①～③に限る） ① 実用英語検定準１級以上を取得した者は成績を証明する書類（合格証明書（和文）） ② TOEIC L&R あるいは TOEIC L&R IP テストで 750 点以上を取得した者は成績を証明する書類　なお，TOEIC L&R IP テスト(オンライン)は認めません。 ③ TOEFL iBT で 80 点以上を取得した者は成績を証明する書類（出願時において有効期限内のスコアに限る）なお，TOEFL ITP は認めません。 ※外国語の能力も自然科学分野における特筆すべき資質・能力に含みます。 （５）その他，自然科学分野における特筆すべき資質・能力を客観的に示す書類

＊「志望理由書」「活動報告書」の様式及び作成については，本学ホームページ「神戸大学受験生ナビ」内の「出願時における提出書類作成の手引き」を参照してください。

■選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）及び（機械）」「プレゼンテーション」「面接・口頭試問」の結果に基づき，第１次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

■第１次選抜

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系)」「総合問題（理系)」を課し，その結果を総合して第１次選抜合格者を決定します。「書類審査」では，調査書，志望理由書，活動報告書から，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を評価します。「模擬講義・レポート（理系)」では，講義を受講させ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。「総合問題（理系)」では，高等学校全般の学習を前提として，工学部で学ぶ上で必要な理科・数学に関する基礎的な知識・理解力，英語の読解力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述式を主とした出題をします。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

試験区分	書類審査	模擬講義・レポート（理系）	総合問題（理系）	合計
配点	100点	150点	350点	600点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
９月28日（土） ［予備日:10月５日(土)］	模擬講義・レポート（理系）	9:30-11:30	神戸大学鶴甲第１キャンパス
	総合問題（理系）Ⅰ	12:50-14:50	
	総合問題（理系）Ⅱ	15:30-17:30	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
書類審査	調査書，志望理由書，活動報告書から，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を総合的に評価します。
模擬講義・レポート（理系）	大学で学ぶ主に自然科学に関する内容等に関する模擬講義を行い，それに関連した課題を提示し，講義レポートを課します。 講義レポートでは，講義内容を理解し，知識を活用する力や文章表現力等を通して，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。
総合問題（理系）	高等学校での学習を前提とし，工学部で学ぶ上で必要な理科・数学に関する知識・理解力，英語の読解力・文章表現力，論理的思考力等を問う記述形式を主とした出題をします。そこから「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

■最終選抜

第１次選抜合格者に対して，最終選抜を行います。最終選抜では，「総合問題（機械)」「プレゼンテーション」「面接・口頭試問」を課し，第１次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。「総合問題（機械)」では，数学及び物理の基礎知識を必要とする総合問題を出題し，それに対する解答を通じて「数物系科目」

に関する「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を測ります。「プレゼンテーション」では，予め与えた課題に対する発表により，機械工学に関連した広く社会的な問題も含めた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を測ります。「面接・口頭試問」では，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を測ります。

試験区分	総合問題（機械）	プレゼンテーション	面接・口頭試問	第１次選抜の結果	合計
配点	300点	100点	200点	600点	1,200点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
11月２日（土）	総合問題（機械）	9:00-10:30	神戸大学工学部学舎 （六甲台第２キャンパス）
	プレゼンテーション	11:00-13:00	
	面接・口頭試問	14:00-16:00	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
総合問題（機械）	数学及び物理の基礎知識を必要とする総合問題に解答させ，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。
プレゼンテーション	第１次選抜合格者に機械工学に関する課題を提示します。課題に対して指定された書式にて作成した資料を最終選抜当日に持参し，10 分～15 分程度のプレゼンテーションを行った後，質疑応答を行い「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。
面接・口頭試問	面接・口頭試問は個人単位で行い，面接では提出書類を参考に，志望理由やこれまでの活動について質疑応答を，また，口頭試問では学びたい専門分野について工学的な内容を含む質疑応答を行い，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を評価します。

【工学部　応用化学科】

■募集人員

３人

■出願資格

次のいずれかを満たすもの

（１）高等学校又は中等教育学校を令和６年４月から令和７年３月までに卒業又は卒業見込みの者

（２）通常の課程による12年の学校教育を令和６年４月から令和７年３月までに修了又は修了見込みの者

■出願要件

次の（１）を満たし，かつ（２）～（６）のいずれかを満たすもの

（１）工学部応用化学科での勉強を強く志望し，合格した場合は入学することを確約できる者

（２）調査書における英語及び数学の「各教科の学習成績の状況」と化学の評定の平均値及び物理の評定の平均値をすべて合算（英＋数＋化＋物）し，４で割った値が4.0以上の者（理数科にあっては，調査書における英語の「各教科の学習成績の状況」，理数の数学に関する科目の評定の平均値，理数化学の評定の平均値，理数物理の評定の平均値をすべて合算（英＋数＋化＋物）し，４で割った値が4.0以上の者）

（３）高等学校等において，数学，物理，化学，生物，地学などの自然科学分野において優れた自由研究を行い，次に例示するような大会への出場経験（予定の者も含む）を有する者（令和４年４月１日以降の経験に限る）

① スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会（文部科学省，国立研究開発法人科学技術振興機構（以下，JST）主催）

② 次のJST次世代人材育成事業「国際科学技術コンテスト支援事業」で支援される教科系コンテスト

・日本数学オリンピック本選
・化学グランプリ二次選考
・日本生物学オリンピック本選
・全国物理コンテスト「物理チャレンジ」全国大会（第２チャレンジ）
・日本情報オリンピック本選
・日本地学オリンピック本選
・科学地理オリンピック日本選手権第３次選抜

③ その他上記に準じる大会

（４）実用英語技能検定準１級以上を取得した者（令和４年４月１日以降受験分の取得に限る）

（５）TOEIC L&RあるいはTOEIC L&R IPテストで750点以上を取得した者（令和４年４月１日以降受験分のスコアに限る）

なお，TOEIC L&R IPテスト(オンライン)は認めません。

（６）TOEFL iBTで80点以上を取得した者(出願時において有効期限内のスコアに限る)

なお，TOEFL ITPは認めません。

■提出書類

調査書	文部科学省の定めた様式により，高等学校等において作成し，厳封したもの
志望理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの

活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの 出願要件（３）～（６）に該当する者は，次のいずれかの項目に該当する書類を併せて提出してください。 ア．（３）に該当する者は出場が証明できる書類（令和４年４月１日以降の経験に限る） イ．実用英語技能検定準１級以上を取得した者は合格証明書（和文）（令和４年４月１日以降受験分の取得に限る） ウ．TOEIC L&RあるいはTOEIC L&R IPテストで750点以上を取得した者は成績を証明する書類（令和４年４月１日以降受験分のスコアに限る） エ．TOEFL iBTあるいはTOEFL iBT Special Home Editionで80点以上を取得した者は成績を証明する書類(出願時において有効期限内のスコアに限る)

＊「志望理由書」「活動報告書」の様式及び作成については，本学ホームページ「神戸大学受験生ナビ」内の「出願時における提出書類作成の手引き」を参照してください。

■選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「化学演習」「口頭試問」の結果に基づき，第１次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

■第１次選抜

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系)」「総合問題（理系)」を課し，その結果を総合して第１次選抜合格者を決定します。「書類審査」では，調査書，志望理由書，活動報告書から，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を評価します。「模擬講義・レポート（理系)」では，講義を受講させ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。「総合問題（理系)」では，高等学校全般の学習を前提として，工学部で学ぶ上で必要な理科・数学に関する基礎的な知識・理解力，英語の読解力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述式を主とした出題をします。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

試験区分	書類審査	模擬講義・レポート（理系）	総合問題（理系）	合計
配点	20点	40点	40点	100点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
９月28日（土） ［予備日:10月５日(土)］	模擬講義・レポート（理系）	9:30-11:30	神戸大学鶴甲第１キャンパス
	総合問題（理系）Ⅰ	12:50-14:50	
	総合問題（理系）Ⅱ	15:30-17:30	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
書類審査	調査書，志望理由書，活動報告書から，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を総合的に評価します。

模擬講義・レポート（理系）	大学で学ぶ主に自然科学に関する内容等に関する模擬講義を行い，それに関連した課題を提示し，講義レポートを課します。 講義レポートでは，講義内容を理解し，知識を活用する力や文章表現力等を通して，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。
総合問題（理系）	高等学校での学習を前提とし，工学部で学ぶ上で必要な理科・数学に関する知識・理解力，英語の読解力・文章表現力，論理的思考力等を問う記述形式を主とした出題をします。そこから「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

■最終選抜

第１次選抜合格者に対して，最終選抜を行います。最終選抜では，「化学演習」「口頭試問」を課し，第１次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。化学演習は筆記試験とし，英文等で書かれた化学に関する資料の読解を通して志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。また，化学演習の内容や学びたい専門分野に関する工学的な内容について志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を問うため口頭試問を行います。

試験区分	**化学演習**	**口頭試問**	**第１次選抜の結果**	**合計**
配点	200点	100点	100点	400点

日程	**試験区分**	**実施時間**	**実施場所**
11月２日（土）	化学演習	10:00-11:30	神戸大学工学部学舎 （六甲台第２キャンパス）
	口頭試問	13:00-16:00	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	**選抜内容**
化学演習	筆記試験を実施します。英文等で書かれた化学に関係する資料の読解を通して「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。
口頭試問	化学演習の内容や学びたい専門分野に関する工学的な内容について志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を問うため口頭試問を行います。口頭試問は個人単位で行います。この口頭試問には，第１次選抜のレポート・総合問題の内容を含むこともあります。

【工学部　情報知能工学科】

■募集人員

５人

■出願資格

高等学校又は中等教育学校を令和６年４月から令和７年３月までに卒業又は卒業見込みの者

■出願要件

次のすべてを満たすもの

（１）工学部情報知能工学科での勉学を強く希望し，合格した場合は入学することを確約する者

（２）数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学Ａ，数学Ｂ，数学Ｃ（理数科にあっては，理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ，理数数学特論）及び理科の物理，化学（理数科にあっては，理数物理，理数化学）を履修し単位を修得しているか，又は入学時までに単位を修得見込みの者

※上記科目を高等学校等で履修できない場合は，個別に判断します。

（３）調査書における「全体の学習成績の状況」が4.0以上であり，かつ数学及び理科の「各教科の学習成績の状況」が4.5以上の者（理数科にあっては，調査書における理数の数学に関する科目及び理数の理科に関する科目の「各教科の学習成績の状況」が4.5以上の者）

（４）次のいずれかを満たすもの

① 特筆すべき資質・能力を有することを示す書類を提出できる者

② 調査書における「全体の学習成績の状況」が4.5以上の者

■提出書類

調査書	文部科学省の定めた様式により，高等学校等において作成し，厳封したもの
志望理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの
活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの 出願要件（４）の①に該当する者は，資質・能力を客観的に証明する書類や高等学校等在学中に特筆すべき活動を行ったことを示す書類を併せて提出してください。特筆すべき活動としては，例えば，科学技術に関する国内外の大会における活動，学会等における研究発表，国際的活動，社会貢献活動などが挙げられます。

＊「志望理由書」「活動報告書」の様式及び作成については，本学ホームページ「神戸大学受験生ナビ」内の「出願時における提出書類作成の手引き」を参照してください。

■選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「総合問題（システム情報学）」「面接・口頭試問」の結果に基づき，第１次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

■第１次選抜

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し，その結果を総合して第１次選抜合格者を決定します。

「書類審査」では，調査書，志望理由書，活動報告書から，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」

「関心・意欲」を評価します。

「模擬講義・レポート（理系)」では，講義を受講させ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

「総合問題（理系)」では，高等学校全般の学習を前提として，工学部情報知能工学科で学ぶ上で必要な理科・数学に関する基礎的な知識・理解力，英語の読解力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述式を主とした出題をします。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

試験区分	書類審査	模擬講義・レポート（理系）	総合問題（理系）	合計
配点	100点	150点	350点	600点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
９月28日（土） ［予備日:10月５日(土)］	模擬講義・レポート（理系）	9:30-11:30	神戸大学鶴甲第１キャンパス
	総合問題（理系）Ⅰ	12:50-14:50	
	総合問題（理系）Ⅱ	15:30-17:30	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
書類審査	調査書，志望理由書，活動報告書から，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」を総合的に評価します。
模擬講義・レポート（理系）	大学で学ぶ主に自然科学に関する内容等に関する模擬講義を行い，それに関連した課題を提示し，講義レポートを課します。 講義レポートでは，講義内容を理解し，知識を活用する力や文章表現力等を通して，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。
総合問題（理系）	高等学校での学習を前提とし，工学部情報知能工学科で学ぶ上で必要な理科・数学に関する知識・理解力，英語の読解力・文章表現力，論理的思考力等を問う記述形式を主とした出題をします。そこから「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

■最終選抜

第１次選抜合格者に対して，最終選抜を行います。

最終選抜では，「総合問題（システム情報学)」「面接・口頭試問」を課し，第１次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。

「総合問題（システム情報学)」では，数学や物理学，システム情報学に関する主として論述形式の筆記試験により，志願者の「思考力・判断力・表現力」を評価します。

「面接・口頭試問」では，志願者の基礎学力を知るため，志望理由書・活動報告書および総合問題（システム情報学）の答案を参考資料とした質疑応答を行い，システム情報学に関する「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」を評価します。

試験区分	総合問題（システム情報学）	面接・口頭試問	第１次選抜の結果	合計
配点	600点	600点	600点	1,800点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
11月２日（土）	総合問題（システム情報学）	9:30-11:30	神戸大学工学部学舎 （六甲台第２キャンパス）
	面接・口頭試問	13:30-17:30	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
総合問題（システム情報学）	数学や物理学及びシステム情報学に関する課題を提示し，主として論述させ「思考力・判断力・表現力」を評価します。
面接・口頭試問	面接では提出された志望理由書及び活動報告書を参考資料として志望理由やこれまでの活動について質疑応答を行い，口頭試問では，志願者の基礎学力を知るため，総合問題（システム情報学）の答案を参考に，学びたい専門分野についてシステム情報学的な内容を含む質疑応答を行います。面接・口頭試問は個人単位で行います。これらを通して，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」を評価します。

※神戸大学では令和７年４月に工学部情報知能学科を替えて，システム情報学部（仮称）の設置を計画しています。新学部設置が認められた場合，システム情報学部システム情報学科（仮称）へ出願となります。

※システム情報学部（仮称）で実施予定の学校推薦型選抜（女子枠）との併願はできません。
（「志」特別選抜の第1次選抜で不合格になった場合も含みます。）

【農学部　食料環境システム学科　生産環境工学コース】

■募集人員

２人

■出願資格

次のいずれかを満たすもの

（１）高等学校又は中等教育学校を令和６年４月から令和７年３月までに卒業又は卒業見込みの者

（２）通常の課程による12年の学校教育を令和６年４月から令和７年３月までに修了又は修了見込みの者

（３）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和６年４月から令和７年３月までに修了又は修了見込みの者

■出願要件

次のすべてを満たすもの

（１）農学部食料環境システム学科生産環境工学コースでの勉学を強く志望し，合格した場合は入学することを確約できる者

（２）調査書における「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者

■提出書類

調査書	文部科学省の定めた様式により，高等学校等において作成し，厳封したもの
志望理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの
活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの

＊「志望理由書」「活動報告書」の様式及び作成については，本学ホームページ「神戸大学受験生ナビ」内の「出願時における提出書類作成の手引き」を参照してください。

■選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「面接・口頭試問」の結果に基づき，第１次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

■第１次選抜

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し，その結果を総合して第１次選抜合格者を決定します。「書類審査」では，調査書，志望理由書，活動報告書から，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。「模擬講義・レポート（理系）」では，講義を受講させ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。「総合問題（理系）」では，高等学校全般の学習を前提として，生産環境工学を学ぶ上で必要な理科・数学に関する基礎的な知識・理解力，英語の読解力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述式を主とした出題をします。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

試験区分	**書類審査**	**模擬講義・レポート（理系）**	**総合問題（理系）**	合計
配点	100点	150点	350点	600点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
９月28日（土） ［予備日:10月５日(土)］	模擬講義・レポート（理系）	9:30-11:30	神戸大学鶴甲第１キャンパス
	総合問題（理系）Ⅰ	12:50-14:50	
	総合問題（理系）Ⅱ	15:30-17:30	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
書類審査	調査書，志望理由書，活動報告書から，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を総合的に評価します。
模擬講義・レポート（理系）	大学で学ぶ主に自然科学に関する内容等に関する模擬講義を行い，それに関連した課題を提示し，講義レポートを課します。 講義レポートでは，講義内容を理解し，知識を活用する力や文章表現力等を通して，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。
総合問題（理系）	高等学校での学習を前提とし，生産環境工学を学ぶ上で必要な理科・数学に関する知識・理解力，英語の読解力・文章表現力，論理的思考力等を問う記述形式を主とした出題をします。そこから「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

■最終選抜

第１次選抜合格者に対して，最終選抜を行います。最終選抜では，「面接・口頭試問」を課し，第１次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。「面接・口頭試問」では，提出書類を参考資料とし質疑応答を行い，志願者の「数学，物理学をはじめとする自然科学に関する基礎知識」「志願するコースの教育・研究に対する理解，能力と適性」「学習に対する関心と意欲」等を総合的に評価します。

試験区分	面接・口頭試問	第１次選抜の結果	合計
配点	300点	600点	900点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
11月２日（土）	面接・口頭試問	13:00-15:30	神戸大学農学部学舎 （六甲台第２キャンパス）

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
面接・口頭試問	面接・口頭試問は個人単位で行い，面接では提出書類を参考に，志望理由や入学後の修学計画等について質疑応答を行い，口頭試問では学びたい専門分野について農学に関する内容を含む質疑応答を行い，「数学，物理学をはじめとする自然科学に関する基礎知識」「志願するコースの教育・研究に対する理解」「学習に対する関心と意欲」を評価します。

【農学部　食料環境システム学科　食料環境経済学コース】

■募集人員

２人

■出願資格

次のいずれかを満たすもの

（１）高等学校又は中等教育学校を令和６年４月から令和７年３月までに卒業又は卒業見込みの者

（２）通常の課程による12年の学校教育を令和６年４月から令和７年３月までに修了又は修了見込みの者

（３）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和６年４月から令和７年３月までに修了又は修了見込みの者

■出願要件

次のすべてを満たすもの

（１）農学部食料環境システム学科食料環境経済学コースでの勉学を強く志望し，合格した場合は入学することを確約できる者

（２）調査書における「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者

■提出書類

調査書	文部科学省の定めた様式により，高等学校等において作成し，厳封したもの
志望理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの
活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの

＊「志望理由書」「活動報告書」の様式及び作成については，本学ホームページ「神戸大学受験生ナビ」内の「出願時における提出書類作成の手引き」を参照してください。

■選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（文系）」「総合問題（文系）」「面接・口頭試問」の結果に基づき，第１次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

■第１次選抜

「書類審査」「模擬講義・レポート（文系）」「総合問題（文系）」を課し，その結果を総合して第１次選抜合格者を決定します。「書類審査」では，調査書，志望理由書，活動報告書から，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。「模擬講義・レポート（文系）」では，講義を受講させ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。「総合問題（文系）」では，高等学校全般の学習を前提として，食料環境経済学を学ぶ上で必要な日本語や英語の読解力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述式を主とした出題をします。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

試験区分	**書類審査**	**模擬講義・レポート（文系）**	**総合問題（文系）**	合計
配点	100点	150点	350点	600点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
９月29日（日） ［予備日:10月５日(土)］	模擬講義・レポート（文系）	9:30-11:30	神戸大学鶴甲第１キャンパス
	総合問題（文系）Ⅰ	12:50-14:50	
	総合問題（文系）Ⅱ	15:30-17:30	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
書類審査	調査書，志望理由書，活動報告書から，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を総合的に評価します。
模擬講義・レポート（文系）	大学で学ぶ主に人文学や社会科学等に関する内容の模擬講義を行い，それに関連した課題を提示し，講義レポートを課します。 講義レポートでは，講義内容を理解し，知識を活用する力や文章表現力等を通して，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。
総合問題（文系）	高等学校での学習を前提とし，食料環境経済学を学ぶ上で必要な日本語や英語の読解力・判断力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述形式を主とした出題をします。そこから「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

■最終選抜

第１次選抜合格者に対して，最終選抜を行います。最終選抜では，「面接・口頭試問」を課し，第１次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。「面接・口頭試問」では，提出書類を参考資料として質疑応答を行い，志願者の「知識」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を評価します。

試験区分	面接・口頭試問	第１次選抜の結果	合計
配点	300点	600点	900点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
11月２日（土）	面接・口頭試問	13:00-16:00	神戸大学農学部学舎 （六甲台第２キャンパス）

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
面接・口頭試問	面接・口頭試問は個人単位で行い，面接では提出書類を参考に，志望理由や入学後の修学計画等について質疑応答を行い，口頭試問では英語，数学ならびに社会問題に関する基礎知識をふまえて，学びたい専門分野について質疑応答を行い，「知識」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を評価します（但し，英語での質疑応答は含まない）。

【農学部　資源生命科学科　応用動物学コース】

■募集人員

１人

■出願資格

次のいずれかを満たすもの

（１）高等学校又は中等教育学校を令和６年４月から令和７年３月までに卒業又は卒業見込みの者

（２）通常の課程による12年の学校教育を令和６年４月から令和７年３月までに修了又は修了見込みの者

（３）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和６年４月から令和７年３月までに修了又は修了見込みの者

■出願要件

次のすべてを満たすもの

（１）農学部資源生命科学科応用動物学コースでの勉学を強く志望し，合格した場合は入学することを確約できる者

（２）理科の化学，生物（理数科にあっては，理数化学，理数生物）を履修し単位を修得しているか，又は入学時までに単位を修得見込みの者

※上記科目を高等学校等で履修できない場合は，個別に判断します。

（３）調査書における「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者

■提出書類

調査書	文部科学省の定めた様式により，高等学校等において作成し，厳封したもの
志望理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの
活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの

＊「志望理由書」「活動報告書」の様式及び作成については，本学ホームページ「神戸大学受験生ナビ」内の「出願時における提出書類作成の手引き」を参照してください。

■選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「課題提示・プレゼンテーション・面接」の結果に基づき，第１次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

■第１次選抜

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し，その結果を総合して第１次選抜合格者を決定します。「書類審査」では，調査書，志望理由書，活動報告書から，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。「模擬講義・レポート（理系）」では，講義を受講させ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。「総合問題（理系）」では，高等学校全般の学習を前提として，応用動物学を学ぶ上で必要な理科・数学に関する基礎的な知識・理解力，英語の読解力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述式を主とした出題をします。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

試験区分	書類審査	模擬講義・レポート（理系）	総合問題（理系）	合計
配点	100点	150点	350点	600点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
９月28日（土） ［予備日:10月５日(土)］	模擬講義・レポート（理系）	9:30-11:30	神戸大学鶴甲第１キャンパス
	総合問題（理系）Ⅰ	12:50-14:50	
	総合問題（理系）Ⅱ	15:30-17:30	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
書類審査	調査書，志望理由書，活動報告書から，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を総合的に評価します。
模擬講義・レポート（理系）	大学で学ぶ主に自然科学に関する内容等に関する模擬講義を行い，それに関連した課題を提示し，講義レポートを課します。 講義レポートでは，講義内容を理解し，知識を活用する力や文章表現力等を通して，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。
総合問題（理系）	高等学校での学習を前提とし，応用動物学を学ぶ上で必要な理科・数学に関する知識・理解力，英語の読解力・文章表現力，論理的思考力等を問う記述形式を主とした出題をします。そこから「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

■最終選抜

第１次選抜合格者に対して，最終選抜を行います。最終選抜では，「課題提示・プレゼンテーション・面接」を課し，第１次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。「課題提示・プレゼンテーション」では，「応用動物学に関する課題」を提示し，プレゼンテーションの内容及び質疑応答により「知識・思考力・表現力」を評価し，「面接」では提出書類を参考資料とし質疑応答を行い，志願者の「理解力・判断力」「計画力・実行力」を評価します。

試験区分	課題提示・プレゼンテーション・面接	第１次選抜の結果	合計
配点	300点	600点	900点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
11月２日（土）	課題提示・プレゼンテーション・面接	9:30-11:00	神戸大学農学部学舎（六甲台第２キャンパス）

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
課題提示・プレゼンテーション・面接	第１次選抜合格者にプレゼンテーションの課題（応用動物学に関する課題）を提示します。指定された様式で事前に作成された資料を最終選抜当日に受験生（第１次選抜合格者）に持参させ，この資料を使用しながらプレゼンテーションを個人単位で行わせます。プレゼンテーション後に質疑応答を行い，「知識・思考力・表現力」を評価します。 面接では提出書類を参考に，志望理由，これまでの自然科学分野における活動，入学後の

	修学計画，学びたい専門分野，将来の目標等について質疑応答を行い，「理解力・判断力・計画力・実行力」を評価します。

【農学部　資源生命科学科　応用植物学コース】

■募集人員

２人

■出願資格

次のいずれかを満たすもの

（１）高等学校又は中等教育学校を令和６年４月から令和７年３月までに卒業又は卒業見込みの者

（２）通常の課程による12年の学校教育を令和６年４月から令和７年３月までに修了又は修了見込みの者

（３）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和６年４月から令和７年３月までに修了又は修了見込みの者

■出願要件

次のすべてを満たすもの

（１）農学部資源生命科学科応用植物学コースでの勉学を強く志望し，合格した場合は入学することを確約できる者

（２）調査書における「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者

■提出書類

調査書	文部科学省の定めた様式により，高等学校等において作成し，厳封したもの
志望理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの
活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの

＊「志望理由書」「活動報告書」の様式及び作成については，本学ホームページ「神戸大学受験生ナビ」内の「出願時における提出書類作成の手引き」を参照してください。

■選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「面接・口頭試問」の結果に基づき，第１次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

■第１次選抜

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し，その結果を総合して第１次選抜合格者を決定します。「書類審査」では，調査書，志望理由書，活動報告書から，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。「模擬講義・レポート（理系）」では，講義を受講させ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。「総合問題（理系）」では，高等学校全般の学習を前提として，応用植物学を学ぶ上で必要な理科・数学に関する基礎的な知識・理解力，英語の読解力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述式を主とした出題をします。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

試験区分	**書類審査**	**模擬講義・レポート（理系）**	**総合問題（理系）**	合計
配点	100点	150点	350点	600点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
９月28日（土） ［予備日:10月７日(土)］	模擬講義・レポート（理系）	9:30-11:30	神戸大学鶴甲第１キャンパス
	総合問題（理系）Ⅰ	12:50-14:50	
	総合問題（理系）Ⅱ	15:30-17:30	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
書類審査	調査書，志望理由書，活動報告書から，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を総合的に評価します。
模擬講義・レポート（理系）	大学で学ぶ主に自然科学に関する内容等に関する模擬講義を行い，それに関連した課題を提示し，講義レポートを課します。 講義レポートでは，講義内容を理解し，知識を活用する力や文章表現力等を通して，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。
総合問題（理系）	高等学校での学習を前提とし，応用植物学を学ぶ上で必要な理科・数学に関する知識・理解力，英語の読解力・文章表現力，論理的思考力等を問う記述形式を主とした出題をします。そこから「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

■最終選抜

第１次選抜合格者に対して，最終選抜を行います。最終選抜では，「面接・口頭試問」を課し，第１次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。「面接」では，提出書類を参考資料として質疑応答を行います。 「口頭試問」では，生物学や農学に関する問題について質疑応答を行います。 以上により，志願者が当コースで学ぶための「知識・思考力・表現力・主体性・協調性」などの適性を評価します。

試験区分	面接・口頭試問	第１次選抜の結果	合計
配点	400点	600点	1000点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
11月２日（土）	面接・口頭試問	9:30-12:00	神戸大学農学部学舎 （六甲台第２キャンパス）

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
グループディスカッション・面接・口頭試問	面接では提出書類を参考資料として質疑応答を行います。口頭試問では生物学や農学に関する問題について質疑応答を行います。 以上により，志願者が当コースで学ぶための「知識・思考力・表現力・主体性・協調性」などの適性を評価します。

【農学部　生命機能科学科　応用生命化学コース】

■募集人員

１人

■出願資格

次のいずれかを満たすもの

（１）高等学校又は中等教育学校を令和６年４月から令和７年３月までに卒業又は卒業見込みの者

（２）通常の課程による12年の学校教育を令和６年４月から令和７年３月までに修了又は修了見込みの者

（３）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和６年４月から令和７年３月までに修了又は修了見込みの者

■出願要件

次のすべてを満たすもの

（１）農学部生命機能科学科応用生命化学コースでの勉学を強く志望し，合格した場合は入学することを確約できる者

（２）調査書における「全体の学習成績の状況」が4.0以上であり，かつ化学（理数科にあっては，理数化学）の評定の平均値が4.0以上の者

■提出書類

調査書	文部科学省の定めた様式により，高等学校等において作成し，厳封したもの
志望理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの
活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの（活動は高等学校等入学前のものは除きます）

＊「志望理由書」「活動報告書」の様式及び作成については，本学ホームページ「神戸大学受験生ナビ」内の「出願時における提出書類作成の手引き」を参照してください。

■選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「実技試験・面接・口頭試問」の結果に基づき，第１次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

■第１次選抜

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し，その結果を総合して第１次選抜合格者を決定します。「書類審査」では，調査書，志望理由書，活動報告書から，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。「模擬講義・レポート（理系）」では，講義を受講させ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。「総合問題（理系）」では，高等学校全般の学習を前提として，応用生命化学を学ぶ上で必要な理科・数学に関する基礎的な知識・理解力，英語の読解力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述式を主とした出題をします。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

試験区分	書類審査	模擬講義・レポート（理系）	総合問題（理系）	合計
配点	100点	150点	350点	600点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
９月28日（土） ［予備日：10月５日(土)］	模擬講義・レポート（理系）	9:30-11:30	神戸大学鶴甲第１キャンパス
	総合問題（理系）Ⅰ	12:50-14:50	
	総合問題（理系）Ⅱ	15:30-17:30	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
書類審査	調査書，志望理由書，活動報告書から，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を総合的に評価します。
模擬講義・ レポート （理系）	大学で学ぶ主に自然科学に関する内容等に関する模擬講義を行い，それに関連した課題を提示し，講義レポートを課します。 講義レポートでは，講義内容を理解し，知識を活用する力や文章表現力等を通して，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。
総合問題 （理系）	高等学校での学習を前提とし，応用生命化学を学ぶ上で必要な理科・数学に関する知識・理解力，英語の読解力・文章表現力，論理的思考力等を問う記述形式を主とした出題をします。そこから「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

■最終選抜

第１次選抜合格者に対して，最終選抜を行います。最終選抜では，「実技試験・面接・口頭試問」を課し，第１次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。

「実技試験・口頭試問」では，生命科学に関連する実験及び口頭試問を行い，志願者の「知識・技能・思考力・判断力・表現力」や応用生命化学分野への適性を評価します。「面接」では，提出書類を参考資料とし質疑応答を行い，「思考力・判断力・表現力・主体性・協働性」を評価します。

試験区分	実技試験・面接・口頭試問	第１次選抜の結果注)	合計
配点	450点	450点	900点

注）第一次選抜の600点満点を450点満点に換算する。

日程	試験区分	実施時間	実施場所
11月２日（土）	実技試験（生命科学実験）	9:30-12:15	神戸大学農学部学舎 （六甲台第２キャンパス）
	実技試験（結果のまとめ及び考察）	13:15-14:50	
	面接・口頭試問	15:00-17:00	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
実技試験	実技試験として生命科学に関する実験を行った後，当日の指示に従い，結果をまとめ考察します。

面接・口頭試問	２０分～３０分の個別面接にて，志望動機や実技内容に関する面接及び口頭試問を行い「思考力・判断力・表現力・主体性・協調性」を評価します。

【農学部　生命機能科学科　応用機能生物学コース】

■募集人員

３人

■出願資格

次のいずれかを満たすもの

（１）高等学校又は中等教育学校を令和６年４月から令和７年３月までに卒業又は卒業見込みの者

（２）通常の課程による12年の学校教育を令和６年４月から令和７年３月までに修了又は修了見込みの者

（３）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和６年４月から令和７年３月までに修了又は修了見込みの者

■出願要件

次のすべてを満たすもの

（１）農学部生命機能科学科応用機能生物学コースでの勉学を強く志望し，合格した場合は入学することを確約できる者

（２）調査書における「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者

■提出書類

調査書	文部科学省の定めた様式により，高等学校等において作成し，厳封したもの
志望理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの
活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの

＊「志望理由書」「活動報告書」の様式及び作成については，本学ホームページ「神戸大学受験生ナビ」内の「出願時における提出書類作成の手引き」を参照してください。

■選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「課題提示によるプレゼンテーション・面接・口頭試問」に基づき，第１次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

■第１次選抜

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し，その結果を総合して第１次選抜合格者を決定します。「書類審査」では，調査書，志望理由書，活動報告書から，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。「模擬講義・レポート（理系）」では，講義を受講させ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。「総合問題（理系）」では，高等学校全般の学習を前提として，応用機能生物学を学ぶ上で必要な理科・数学に関する基礎的な知識・理解力，英語の読解力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述式を主とした出題をします。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

試験区分	書類審査	模擬講義・レポート（理系）	総合問題（理系）	合計
配点	100点	150点	350点	600点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
９月28日（土） ［予備日：10月５日(土)］	模擬講義・レポート（理系）	9:30-11:30	神戸大学鶴甲第１キャンパス
	総合問題（理系）Ⅰ	12:50-14:50	
	総合問題（理系）Ⅱ	15:30-17:30	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
書類審査	調査書，志望理由書，活動報告書から，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を総合的に評価します。
模擬講義・レポート（理系）	大学で学ぶ主に自然科学に関する内容等に関する模擬講義を行い，それに関連した課題を提示し，講義レポートを課します。 講義レポートでは，講義内容を理解し，知識を活用する力や文章表現力等を通して，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。
総合問題（理系）	高等学校での学習を前提とし，当コースで学ぶ上で必要な理科・数学に関する知識・理解力，英語の読解力・文章表現力，論理的思考力等を問う記述形式を主とした出題をします。そこから「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

■最終選抜

第１次選抜合格者に対して，最終選抜を行います。最終選抜では，「課題提示によるプレゼンテーション・面接・口頭試問」を課し，第１次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。「課題提示によるプレゼンテーション」では，課題に対するプレゼンテーション及び質疑応答を行い，「主体性・表現力」を評価します。「面接」では，提出書類を参考資料とし質疑応答を行い，志願者の「農学部生命機能科学科応用機能生物学コースで勉学する意欲」を評価します。「口頭試問」では質疑応答を行い，「知識・論理的思考力」を評価します。

試験区分	課題提示によるプレゼンテーション・面接・口頭試問	第１次選抜の結果	合計
配点	400点	600点	1000点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
11月２日（土）	課題提示によるプレゼンテーション・面接・口頭試問	9:30-15:00	神戸大学農学部学舎 （六甲台第２キャンパス）

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
課題提示による**プレゼンテーション** **面接** **口頭試問**	第１次選抜合格者に対しプレゼンテーションの課題（生命科学と環境科学に関する課題）を提示します。指定された書式で事前に作成された資料を最終選抜当日に受験生に持参させるとともに，10 分～15 分程度のプレゼンテーションを個人単位で行わせます。プレゼンテーション後に質疑応答を行い，「主体性・表現力」を評価します。 面接では提出書類を参考に，志望理由や入学後の抱負等について質疑応答を行い，「勉学する意欲」を評価し，口頭試問では学びたい専門分野について農学に関する内容を含む質疑応答を行い，「知識・論理的思考力」を評価します。

【海洋政策科学部 海洋政策科学科】

（海洋基礎科学領域・海洋応用科学領域・海洋ガバナンス領域）

■募集人員

５人

■出願資格

次のいずれかを満たすもの

（１）高等学校又は中等教育学校を令和６年４月から令和７年３月までに卒業又は卒業見込みの者

（２）通常の課程による12年の学校教育を令和６年４月から令和７年３月までに修了又は修了見込みの者

■出願要件

第１次選抜は，理系科目重視型と文系科目重視型の選抜方法があり，選抜方法によって出願要件が異なります。

【理系科目重視型】

次のすべてを満たすもの

（１）海洋政策科学部海洋政策科学科（海洋基礎科学領域・海洋応用科学領域・海洋ガバナンス領域）での勉学を強く志望し，合格した場合は必ず入学することを確約できる者

（２）数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学Ａ，数学Ｂ，数学Ｃ（理数科にあっては，理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ，理数数学特論）及び理科の物理，化学（理数科にあっては，理数物理，理数化学）を履修し単位を修得しているか，又は入学時までに単位を修得見込みの者

※上記科目を高等学校等で履修できない場合は，個別に判断します。

（３）調査書における「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者

【文系科目重視型】

次のすべてを満たすもの

（１）海洋政策科学部海洋政策科学科（海洋基礎科学領域・海洋応用科学領域・海洋ガバナンス領域）での勉学を強く志望し，合格した場合は必ず入学することを確約できる者

（２）数学Ⅱ，数学Ａ，数学Ｂ，数学Ｃ及び理科の物理，化学（又は物理基礎，化学基礎）を履修し単位を修得しているか，又は入学時までに単位を修得見込みの者

※上記科目を高等学校等で履修できない場合は，個別に判断します。

（３）調査書における「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者

■提出書類

調査書	文部科学省の定めた様式により，高等学校等において作成し，厳封したもの
志望理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの
活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの 特に TOEIC L&R や TOEFL iBTの成績を証明する書類，実用英語技能検定について記載できるものがあれば記載し，公式スコアシートや合格証明書を提出してください

＊「志望理由書」「活動報告書」の様式及び作成については，本学ホームページ「神戸大学受験生ナビ」内の「出願時における提出書類作成の手引き」を参照してください。

＊　必ず，志望する領域を「志望理由書」に記載してください。

■選抜方法

【理系科目重視型】

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「プレゼンテーション，面接・口頭試問」の結果に基づき，第１次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。最終選抜合格者の判定は，最終選抜の成績のみで行います。

【文系科目重視型】

「書類審査」「模擬講義・レポート（文系）」「総合問題（文系）」「プレゼンテーション，面接・口頭試問」の結果に基づき，第１次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。最終選抜合格者の判定は，最終選抜の成績のみで行います。

■第１次選抜

【理系科目重視型】

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し，その結果を総合して第１次選抜合格者を決定します。「書類審査」では，調査書，志望理由書，活動報告書から，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。「模擬講義・レポート（理系）」では，講義を受講させ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。「総合問題（理系）」では，高等学校全般の学習を前提として，海洋政策科学（海洋基礎科学・海洋応用科学・海洋ガバナンス）を学ぶ上で必要な理科・数学に関する基礎的な知識・理解力，英語の読解力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述式を主とした出題をします。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

試験区分	書類審査	模擬講義・レポート（理系）	総合問題（理系）	合計
配点	50点	75点	175点	300点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
９月28日（土） ［予備日：10月５日(土)］	模擬講義・レポート（理系）	9:30-11:30	神戸大学鶴甲第１キャンパス
	総合問題（理系）Ⅰ	12:50-14:50	
	総合問題（理系）Ⅱ	15:30-17:30	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
書類審査	調査書，志望理由書，活動報告書から，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を総合的に評価します。
模擬講義・ レポート （理系）	大学で学ぶ主に自然科学に関する内容等に関する模擬講義を行い，それに関連した課題を提示し，講義レポートを課します。 講義レポートでは，講義内容を理解し，知識を活用する力や文章表現力等を通して，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

総合問題（理系）	高等学校での学習を前提とし，海洋政策科学（海洋基礎科学・海洋応用科学・海洋ガバナンス）を学ぶ上で必要な理科・数学に関する知識・理解力，英語の読解力・文章表現力，論理的思考力等を問う記述形式を主とした出題をします。そこから「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

【文系科目重視型】

「書類審査」「模擬講義・レポート（文系）」「総合問題（文系）」を課し，その結果を総合して第１次選抜合格者を決定します。「書類審査」では，調査書，志望理由書，活動報告書から，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。「模擬講義・レポート（文系）」では，講義を受講させ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。「総合問題（文系）」では，高等学校全般の学習を前提として，海洋政策科学（海洋基礎科学・海洋応用科学・海洋ガバナンス）を学ぶ上で必要な日本語や英語の読解力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述式を主とした出題をします。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

試験区分	書類審査	模擬講義・レポート（文系）	総合問題（文系）	合計
配点	50点	75点	175点	300点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
９月29日（日） ［予備日：10月５日(土)］	模擬講義・レポート（文系）	9:30-11:30	神戸大学鶴甲第１キャンパス
	総合問題（文系）Ⅰ	12:50-14:50	
	総合問題（文系）Ⅱ	15:30-17:30	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
書類審査	調査書，志望理由書，活動報告書から，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を総合的に評価します。
模擬講義・レポート（文系）	大学で学ぶ主に人文学や社会科学等に関する内容の模擬講義を行い，それに関連した課題を提示し，講義レポートを課します。 講義レポートでは，講義内容を理解し，知識を活用する力や文章表現力等を通して，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。
総合問題（文系）	高等学校での学習を前提とし，海洋政策科学（海洋基礎科学・海洋応用科学・海洋ガバナンス）を学ぶ上で必要な日本語や英語の読解力・判断力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述形式を主とした出題をします。そこから「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

■最終選抜（理系科目重視型，文系科目重視型共通）

第１次選抜合格者に対して，最終選抜を行います。最終選抜に先立ち，まず海洋政策科学部（大学）から海事・海洋に関する課題を受験生各位に事前にお知らせします。最終選抜では，この課題に対する「プレゼンテーション（質疑応答を含む）」を課し，その後，「面接・口頭試問」を行います。これらの結果に基づき，最終合格者を決定します。「プレゼンテーション」では，課題に対するプレゼンテーション及び質疑応答を行い，「知識・

思考力・判断力・表現力」を評価します。その後，「面接・口頭試問」では調査書，志望理由書，活動報告書を踏まえた口頭試問を実施し，そこから志願者の「主体性・協働性・技能」を専門的な観点から評価するとともに，海洋政策科学科（海洋基礎科学領域・海洋応用科学領域・海洋ガバナンス領域）への理解や志向性等を総合的に評価します。

試験区分	プレゼンテーション，**面接・口頭試問**	合計
配点	300点	300点

日程	**試験区分**	**実施時間**	**実施場所**
11月２日（土）	プレゼンテーション，面接・口頭試問	9:30-12:00 13:00-16:00	神戸大学海洋政策科学部学舎（深江キャンパス）

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

※試験実施場所（海洋政策科学部）内の学生食堂は，最終選抜実施日には営業していません。各自昼食を準備してください。ただし，順番によっては午前中で試験が終了する場合があります。

選抜方法	**選抜内容**
プレゼンテーション，面接・口頭試問	第１次選抜合格者に対し，海洋政策科学に関するプレゼンテーション課題を提示します。受験生は，指定された様式で作成した資料を最終選抜当日に持参し，この資料を使って個人単位でプレゼンテーションを行います。プレゼンテーション終了後に質疑応答を行い，「知識・思考力・判断力・表現力」を評価します。 その後，調査書，志望理由書，活動報告書を踏まえた面接・口頭試問において，志望理由，これまでの活動内容，入学後の修学計画，将来の目標等に関する質疑応答を行い，「主体性・協働性・技能・関心・意欲」，「海洋政策科学部（志望領域）への志向性」を評価します。

【海洋政策科学部 海洋政策科学科 海技ライセンスコース】

（航海学領域・機関学領域）

■募集人員

１０人

■出願資格

次のいずれかを満たすもの

（１）高等学校又は中等教育学校を令和６年４月から令和７年３月までに卒業又は卒業見込みの者

（２）通常の課程による12年の学校教育を令和６年４月から令和７年３月までに修了又は修了見込みの者

（３）専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを令和６年４月から令和７年３月までに修了又は修了見込みの者

■出願要件

第１次選抜は，理系科目重視型と文系科目重視型の選抜方法があり，選抜方法によって出願要件が異なります。

【理系科目重視型】

次のすべてを満たすもの

（１）海洋政策科学部海洋政策科学科海技ライセンスコース（航海学領域・機関学領域）での勉学を強く志望し，合格した場合は必ず入学することを確約できる者

（２）数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C（理数科にあっては，理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ，理数数学特論）及び理科の物理，化学（理数科にあっては，理数物理，理数化学）を履修し単位を修得しているか，又は入学時までに単位を修得見込みの者

※上記科目を高等学校等で履修できない場合は，個別に判断します。

（３）調査書における「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者

【文系科目重視型】

次のすべてを満たすもの

（１）海洋政策科学部海洋政策科学科海技ライセンスコース（航海学領域・機関学領域）での勉学を強く志望し，合格した場合は必ず入学することを確約できる者

（２）数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C及び理科の物理，化学（又は物理基礎，化学基礎）を履修し単位を修得しているか，又は入学時までに単位を修得見込みの者

※上記科目を高等学校等で履修できない場合は，個別に判断します。

（３）調査書における「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者

■提出書類

調査書	文部科学省の定めた様式により，高等学校等において作成し，厳封したもの
志望理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの
活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの 特に TOEIC L&R や TOEFL iBTの成績を証明する書類，実用英語技能検定について記載できるも

	のがあれば記載し，公式スコアシートや合格証明書を提出してください

＊「志望理由書」「活動報告書」の様式及び作成については，本学ホームページ「神戸大学受験生ナビ」内の「出願時における提出書類作成の手引き」を参照してください。

＊　必ず，志望する領域を「志望理由書」に記載してください。

■選抜方法

【理系科目重視型】

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「プレゼンテーション，面接・口頭試問」の結果に基づき，第１次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。最終選抜合格者の判定は，最終選抜の成績のみで行います。

【文系科目重視型】

「書類審査」「模擬講義・レポート（文系）」「総合問題（文系）」「プレゼンテーション，面接・口頭試問」の結果に基づき，第１次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。最終選抜合格者の判定は，最終選抜の成績のみで行います。

■留意事項

海技免許を取得するためには，第３学年及び第４学年に独立行政法人海技教育機構練習船で，それぞれ３か月間の集中で実施される「船舶実習-１」（第３学年必修）及び「船舶実習-２」（第４学年必修）を修得の上，学部卒業後の乗船実習科における６か月の船舶実習が必要です。

船舶実習（乗船実習科における船舶実習含む）の履修及び海技免許の取得のためには，P91の健康診断基準を満たす必要がありますので，出願前に専門医を受診し，色覚に関する検査を含め，健康診断基準を満たしていることを確認しておいてください。

■第１次選抜

【理系科目重視型】

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し，その結果を総合して第１次選抜合格者を決定します。「書類審査」では，調査書，志望理由書，活動報告書から，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。「模擬講義・レポート（理系）」では，講義を受講させ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。「総合問題（理系）」では，高等学校全般の学習を前提として，海洋政策科学（航海学・機関学）を学ぶ上で必要な理科・数学に関する基礎的な知識・理解力，英語の読解力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述式を主とした出題をします。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

試験区分	書類審査	模擬講義・レポート（理系）	総合問題（理系）	合計
配点	50点	75点	175点	300点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
９月28日（土） ［予備日：10月５日(土)］	模擬講義・レポート（理系）	9:30-11:30	神戸大学鶴甲第１キャンパス
	総合問題（理系）Ⅰ	12:50-14:50	
	総合問題（理系）Ⅱ	15:30-17:30	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
書類審査	調査書，志望理由書，活動報告書から，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を総合的に評価します。
模擬講義・レポート（理系）	大学で学ぶ主に自然科学に関する内容等に関する模擬講義を行い，それに関連した課題を提示し，講義レポートを課します。 講義レポートでは，講義内容を理解し，知識を活用する力や文章表現力等を通して，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。
総合問題（理系）	高等学校での学習を前提とし，海洋政策科学（航海学・機関学）を学ぶ上で必要な理科・数学に関する知識・理解力，英語の読解力・文章表現力，論理的思考力等を問う記述形式を主とした出題をします。そこから「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

【文系科目重視型】

「書類審査」「模擬講義・レポート（文系)」「総合問題（文系)」を課し，その結果を総合して第１次選抜合格者を決定します。「書類審査」では，調査書，志望理由書，活動報告書から，志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。「模擬講義・レポート（文系)」では，講義を受講させ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。「総合問題（文系)」では，高等学校全般の学習を前提として，海洋政策科学（航海学・機関学）を学ぶ上で必要な日本語や英語の読解力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述式を主とした出題をします。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

試験区分	書類審査	模擬講義・レポート（文系）	総合問題（文系）	合計
配点	50点	75点	175点	300点

日程	試験区分	実施時間	実施場所
９月29日（日） ［予備日：10月５日(土)］	模擬講義・レポート（文系）	9:30-11:30	神戸大学鶴甲第１キャンパス
	総合問題（文系）Ⅰ	12:50-14:50	
	総合問題（文系）Ⅱ	15:30-17:30	

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
書類審査	調査書，志望理由書，活動報告書から，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を総合的に評価します。
模擬講義・レポート（文系）	大学で学ぶ主に人文学や社会科学等に関する内容の模擬講義を行い，それに関連した課題を提示し，講義レポートを課します。 講義レポートでは，講義内容を理解し，知識を活用する力や文章表現力等を通して，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。
総合問題（文系）	高等学校での学習を前提とし，海洋政策科学（航海学・機関学）を学ぶ上で必要な日本語や英語の読解力・判断力・文章表現力・論理的思考力及び数学的思考力等を問う記述形式を主とした出題をします。そこから「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

■最終選抜（理系科目重視型，文系科目重視型共通）

第１次選抜合格者に対して，最終選抜を行います。最終選抜に先立ち，まず海洋政策科学部（大学）から海事・海洋に関する課題を受験生各位に事前にお知らせします。最終選抜では，この課題に対する「プレゼンテーション（質疑応答を含む）」を課し，その後，「面接・口頭試問」を行います。これらの結果に基づき，最終選抜の結果のみで最終合格者を決定します。「プレゼンテーション」では，課題に対するプレゼンテーション及び質疑応答を行い，「知識・思考力・判断力・表現力」を評価します。その後，「面接・口頭試問」では調査書，志望理由書，活動報告書を踏まえた口頭試問を実施し，そこから志願者の「主体性・協働性・技能」を専門的な観点から評価するとともに，海洋政策科学科海技ライセンスコース（航海学領域・機関学領域）への理解や志向性等を総合的に評価します。

試験区分	プレゼンテーション，**面接・口頭試問**	合計
配点	300点	300点

日程	**試験区分**	**実施時間**	**実施場所**
11月２日（土）	プレゼンテーション，面接・口頭試問	9:30-12:00 13:00-16:00	神戸大学海洋政策科学部学舎（深江キャンパス）

※実施時間及び実施場所等の詳細については，受験者心得で確認してください。

※試験実施場所（海洋政策科学部）内の学生食堂は，最終選抜実施日には営業していません。各自昼食を準備してください。ただし，順番によっては午前中で試験が終了する場合があります。

選抜方法	選抜内容
プレゼンテーション，面接・口頭試問	第１次選抜合格者に対し，海洋政策科学に関するプレゼンテーション課題を提示します。受験生は，指定された様式で作成した資料を最終選抜当日に持参し，この資料を使って個人単位でプレゼンテーションを行います。プレゼンテーション終了後に質疑応答を行い，「知識・思考力・判断力・表現力」を評価します。 その後，調査書，志望理由書，活動報告書を踏まえた面接・口頭試問において，志望理由，これまでの活動内容，入学後の修学計画，将来の目標等に関する質疑応答を行い，「主体性・協働性・技能・関心・意欲」，「海洋政策科学部（志望領域）への志向性」を評価します。

５．出願手続（インターネット出願）

出願手続を実施するにあたり，まず，本学ホームページより，「志望理由書」「活動報告書」をダウンロードし，**記載事項等入力作成し出願準備願います**（記載に当たっては，「出願時における提出書類作成の手引き」をダウンロードし，ご覧ください）。

出願手続は，④の出願に必要な書類を提出期間内に本学に郵送することにより完了します。不備のないように注意してください。

① **インターネット出願登録** **（84ページ参照）**	パソコン・スマートフォン等で本学ホームページから「インターネット出願サイト」にアクセスし，必要情報を入力，登録してください。
▼	
② **「志望理由書」「活動報告書」のアップロード**	①の完了後，インターネット出願サイトの指示に従って，「志望理由書」「活動報告書」をアップロードしてください。 なお，本人控えは入力作成時に印刷出来ます。
▼	
③ **検定料の支払い** **（85ページ参照）**	① ②の完了後，インターネット出願サイトの指示に従って，検定料17,000円をお支払いください。なお，支払い時には別途，システム利用料1,500円が必要となります。
▼	
④ **出願に必要な書類の郵送** **（86ページ参照）**	① ②の完了後，インターネット出願サイトから必要書類等を印刷し，③の支払い手続き完了後，出願に必要な全ての書類とともに本学に送付してください。

（１）出願期間

インターネット出願登録開始	**令和６年８月30日（金）10時 より**
出願に必要な書類提出期間	**令和６年９月２日（月）～ 令和６年９月６日（金）17時必着**

この期間中に，インターネット出願登録と検定料の支払いを済ませ，なおかつ必要書類等が本学に到着していなければなりません。（85ページ【注意】参照）

必要書類等の受付は，**郵送（簡易書留・速達）**によるもののみとし，提出期間を過ぎたものは受理しませんので，郵便事情を十分考慮し，余裕を持って送付してください。

また，必要書類等は直接持参しても受理しません。

必要書類等の受領確認は電話でお答えすることはできませんので，日本郵便ホームページ等の追跡サービスで確認してください。

※　出願結果は，神戸大学ホームページに掲載します。

（2）**インターネット出願のために準備するもの**

パソコン・スマートフォン等	インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。自宅にパソコン等がない場合は，学校，図書館，知人等のパソコン等から出願してください。 ※推奨環境はインターネット出願サイトをご確認ください。
印刷環境（カラー推奨）	郵送が必要な書類をＡ４用紙で印刷します。自宅にプリンタがない場合は，学校，図書館，知人，コンビニエンスストア等のプリンタから印刷してください。 カラー印刷ができない場合は，白黒印刷でも構いません。
メールの設定	出願登録時にお知らせメールを送信します。メール受信設定でドメイン設定を行っている場合は，メールが届かないことがあります。 @sb.admission.srv.kobe-u.ac.jpを受信可能なドメインとして設定してください。
顔写真データ	出願には顔写真データ（JPEGまたはJPG形式，１ＭＢ程度）が必要です。 （カラー，本人のみ，正面，上半身，無帽，フチなし，背景は暗すぎず何も写っていない，３か月以内に撮影，縦横比４：３，縦横比はアップロード時に変更できます）
出願に必要な書類	86ページ参照の上，提出期間内に間に合うようあらかじめご用意ください。
封　　筒	必要書類等郵送のために，市販の角２封筒（24cm×33.2cm）をご用意ください。

（3）**出願手続の手順**

本学ホームページから「インターネット出願サイト」にアクセスしてください。
本学ホームページURL：https://www.kobe-u.ac.jp

ＳＴＥＰ１	インターネット出願登録 ・インターネット出願サイトの「利用案内」，「出願手順」，「Ｑ＆Ａ」等を必ず確認してください。 ・画面に従って，出願登録を行ってください。 ・住所は指定された枠内に収まるように入力し，収まらない場合は適宜２行目，３行目の枠を利用して入力してください。 ・登録の住所は３月末まで利用しますので確実に郵便物が届く住所を入力してください。 ・確認画面で登録内容に間違いがないか，確認してください。 ※　出願登録完了後の登録内容の変更はできませんので，登録した内容を十分に確認してください。
ＳＴＥＰ２	検定料の支払い 次のいずれかの方法で支払手続を行ってください。出願確認票（本人控）に記載された支払い期限までにお支払いください。検定料の支払いにかかるシステム利用料は志願者負担になります。 ①　クレジットカード 画面に従って，支払い手続きを行ってください。 ②　指定のコンビニエンスストア及びPay-easy（ペイジー）取扱い金融機関ATM a.　支払方法を選択し，表示される受付番号等（※）をメモするか，画面を印刷してください。

	※　支払いのための受付番号等は，出願受付番号とは別の番号です。 b.　メモした受付番号等を使用し，コンビニエンスストア，金融機関で支払手続を行ってください。
ＳＴＥＰ３	出願確認票等の印刷 Ａ４サイズの白の用紙で印刷（カラー推奨）してください。
ＳＴＥＰ４	必要書類等の郵送 必要書類等（86ページ(５)郵送が必要な書類等参照）をあて名ラベル表面に貼った封筒に入れ，簡易書留・速達により郵送してください。
ＳＴＥＰ５	受験票・受験者心得の印刷 詳細は，87 ページ「７．受験票及び受験者心得」を参照してください。

【注　意】

インターネット出願において，出願登録及び検定料の支払いを行っただけでは，出願手続完了にはなりません。82ページの書類提出期間に必要書類等を郵送（必着）する必要があります。

書類提出期間を過ぎたものは受理しませんので，郵便事情を十分考慮し，余裕を持って送付してください。

（４）検定料の支払方法について

検定料・・・・・・・・17,000円

システム利用料・・・・ 1,500円

支払方法は，クレジットカード，コンビニエンスストア， Pay-easy(ペイジー)が利用可能です。それぞれ手続等注意事項を確認の上，支払方法を選択してください。詳しい支払方法については，出願情報登録後の「お支払方法選択」で選択した支払方法の画面で確認してください。出願確認票（本人控）に記載された支払い期限までにお支払いください。支払い時には別途，システム利用料1,500円が必要となります。

支払方法	取扱機関等	備　考
クレジットカード	VISA，MasterCard	支払方法は一括払のみです。
コンビニエンスストア	セブンイレブン，ローソン，ミニストップ，ファミリーマート，デイリーヤマザキ・デイリーストア，セイコーマート	支払方法は現金のみです。
Pay-easy(ペイジー)	ゆうちょ銀行，三菱UFJ銀行，三井住友銀行，みずほ銀行，りそな銀行，埼玉りそな銀行，荘内銀行，群馬銀行，千葉銀行，横浜銀行，南都銀行，関西みらい銀行，福岡銀行，十八親和銀行，東和銀行，京葉銀行，熊本銀行，青森銀行，百十四銀行，Pay-easy対応ネットバンキング	取扱い金融機関のPay-easyマークの付いたATMで支払うことができます。

◎検定料等の返還について

納付された検定料，システム利用料は次の場合に，返還します。

①必要書類等を郵送しなかった場合，必要書類等が受理されなかった場合

②検定料等を誤って二重に払い込んだ場合

返還方法は「検定料等返還請求書」にてお知らせします。

◎激甚災害により被災した入学志願者の検定料免除について

激甚災害により被災した入学志願者への検定料等免除の特別措置を講じます。特別措置を希望する志願者は，学務部入試課(078-803-5230) までお問い合わせください。

申請される方は，出願時に「検定料（システム利用料含む）」を振り込まないでください。

(URL：https://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-examinavi/juken/menjyotou/index.html)

【インターネット出願登録に関わる注意事項】

- 「出願受付番号」は，受験番号ではありません。
- インターネット出願登録完了後は，登録内容の修正・変更は一切できませんので誤入力のないよう注意してください。支払い前に誤入力に気がついた場合は，検定料等を支払わずに，もう一度新たに最初から登録をやり直してください。
- インターネット出願登録完了後，支払い期限までに検定料等の支払手続が行われなかった場合，出願受付は完了しません。
- 顔写真データは，出願写真として適切でないと判断された場合，再提出になる場合があります。

○インターネット出願サイトの操作方法・検定料等の支払方法に関する問い合わせ先
神戸大学インターネット出願サポートセンター
Tel：電話番号はインターネット出願サイトでお知らせします。
受付期間８月30日（**金**）～９月６日（**金**）10:00～18:00
※入試に関する質問についてはお答えできません。

○入試に関する問い合わせ先
神戸大学学務部入試課
Tel：078-803-5230
平日9:00～17:00／土日祝・年末年始除く

（５）郵送が必要な書類等

インターネット出願登録後，以下のとおり必要な書類を郵送してください。

書　類　等	備　　考
①出願確認票 （大学提出用）	インターネット出願システムの出願登録完了画面から印刷してください。
②調 査 書 等 ※調査書等と現在の姓が異なる場合は，改姓の事実が確認できる証明書等を提出してください。	a. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和７年３月卒業見込みの者は，高等学校又は中等教育学校において文部科学省の定めた様式により作成した調査書を提出してください。（出願日から遡って３か月以内に作成し，厳封したもの） ※卒業見込者の調査書については，最終学年の７月末までの成績を含めて記載してください。出願要件として特定の教科・科目の修得要件があるときに，出願要件で指定された科目名で授業が開講されていない場合は，調査書の備考欄に読み替え（代替）科目名と出願要件で指定された科目に対応する単位数を記載してください。既卒者の場合は，任意の様式を用いて読み替え（代替）科目名と出願要件で指定された科目に対応する単位数を記載してください。

	b.　高等専門学校第３学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者は，出身校において文部科学省の定めた調査書に準じて作成したものをもって調査書に代えることができます。
③あて名ラベル	出願登録完了画面からＡ４用紙に印刷（カラー推奨）の上，必要書類郵送用封筒（市販の角２封筒）の表面に貼りつけてください。

（６）必要書類等の送付先　〒657－8501　神戸市灘区六甲台町１－１　神戸大学学務部入試課

（７）出願についての注意事項

① 出願書類等に不備がある場合には，受理しないことがありますので十分注意してください。

② 一度受理した出願書類等の返却及び記入事項の変更は認めません。
ただし，連絡先に変更があった場合には，速やかに出願した学部（98 ページの問い合わせ先参照）に連絡してください。

③ 出願登録内容及び出願書類等に虚偽の記載をした者は，入学手続完了後であっても入学許可を取り消すことがあります。

④ 出願時に大学に在籍している者が，入学試験に合格し，本学に入学する場合には，在籍している大学を退学する必要があります。
ただし，受験に際しては，この限りではありません。

６．受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害のある者等のうち，受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者は，令和６年８月１日（木）までに志願する学部（98ページ問い合わせ先参照）に相談してください。

※事前相談は障害のある者等に本学の現状をあらかじめ知っていただき，受験及び修学にあたってより良い方法やあり方を実現するためのもので，障害のある者等の受験や修学を制限するものではありません。日常生活においてごく普通に使用されている補聴器，松葉杖，車椅子等を使用して受験する場合も，試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので，事前に相談してください。相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので，できるだけ早い時期に相談してください。

７．受験票及び受験者心得

「受験票」及び「受験者心得」については，令和６年９月13日（金）以降にインターネット出願システムから印刷することができますので，各自で印刷してください。印刷した「受験票」は，必ず試験当日に持参してください。

８．合格発表

（１）第１次選抜の合格者発表

令和６年10月23日（水）に，神戸大学のホームページで第１次選抜合格者の受験番号を発表します。なお，第１次選抜合格者には，最終選抜の案内を郵送します。不合格者への通知は行いません。

（２）最終選抜の合格者発表

令和６年11月28日（木）に，神戸大学のホームページで最終選抜合格者の受験番号を発表します。なお，最終選抜合格者には，合格通知書及び「入学の手引き」等を郵送します。不合格者への通知は行いません。いずれの場合も，大学での掲示等は行いません。また，電話等による合否に関する照会には一切応じませんので，注意してください。

９．入学手続

入学手続は，郵送により行います。

ただし，やむを得ない事情がある場合は持参による入学手続を行うことが出来ます。

所定の日時までに入学手続を完了しない者については，入学を辞退した者として取扱い，これ以降の入学手続は認めません。

（１）郵送による入学手続

① 郵送期限

令和６年12月９日（月） 15時までに必着

② 送付方法等

a. 遅延等の郵便事情を考慮の上，郵送期限に間に合うよう書留速達で郵送してください。

b. 合格者発表時に本学から送付する所定の封筒で郵送してください。

c. 入学料は「入学料の振込依頼書」により銀行窓口で納付してください（詳細については，合格発表時に各学部から郵送する「入学の手引き」をご確認ください）。

d. メール便，バイク便等での配送は受け付けません。

※上記郵送期限を過ぎて到着した場合は，いかなる理由があっても受理できません。

③ 入学手続書類の送付先

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町１－１

神戸大学 学務部入試課

（２）持参による入学手続

郵送による入学手続ができない場合，次のとおり持参による入学手続を行うことができます。

① 持参受付期間

令和６年12月９日（月） 10時から15時まで

② その他

・合格者本人が持参できない場合は，代理人が持参しても差し支えありません。

・手続会場等の詳細については，合格発表時に「入学の手引き」をご確認ください。

・入学手続会場及びその周辺には駐車場がありませんので，自動車，バイク等での来場，送迎はできません。

（３）入学手続に必要なもの

手続書類等	備考
① 令和７年度神戸大学受験票 （神戸大学「志」特別選抜用）	
② 入学料（282,000 円）	入学料は入学手続日までに銀行等で納付し，「振込金（兼手数料）受取書」を郵送（持参の場合は持参）してください。

（注）ア．金額は，令和５年度の例です。

イ．納付された入学金は，返還できません。

ウ．入学手続の詳細については，最終合格者へ送付する「入学の手引き」等を確認してください。

（４）入学手続における留意事項

① 本選抜に合格した者は，原則として入学を辞退することはできません。

② 入学手続を完了した者に，「入学許可書」等の書類を配付します。

③ 入学料を納付しただけでは入学手続が完了したことにはなりません。

④ 入学後に必要な費用は，令和６年 12 月頃神戸大学ホームページで公開予定の令和７年度神戸大学学生募集要項（一般選抜）を確認してください。

⑤ 本選抜に合格し，入学手続を完了した者は，他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部（※）を除く。）の合格者となることはできません。

※ 公立大学協会ホームページ参照 https://www.kodaikyo.org/

なお，特別の事情により，入学辞退を希望する場合には， 12 月６日（金）17 時までに神戸大学入試課へ電話連絡の上，その指示に従ってください。

10. 入学前教育

神戸大学では，神戸大学「志」特別選抜での入学手続完了者に対し，入学前の学習支援として，高等学校教育に配慮しながら，レポート等の学習課題を課し，指導を行います。なお，第１回入学前教育スクーリングは，12月26日（木）に実施予定です。詳細は，最終合格者へ送付する書類を確認してください。

大学入学共通テストを課さない「志」特別選抜は， 12月中に合格が決定します。その後4月の入学までには3ヶ月の期間があり，その時期をどのように過ごすかによって，入学後の学修に大きな影響があります。

万一，無駄に過ごしてしまうと，大学の授業を理解できない状況に至るかもしれません。この時間を入学までの貴重な準備期間として捉え，他の選抜方法の合格者よりも一足早く大学生活を始めるよい機会を得たという気持ちで学習に取り組んでいただきたいと思います。

そこで，神戸大学では，「志」特別選抜の合格者に対して，各自が自主的に計画を立てて学習できる入学前教育のプログラムを提供します。入学までに有意義で充実した学びの時間を過ごしてください。

なお，学習する教材の購入費用は8,000円程度で，各自の負担となります。

11. 個人情報の取扱いについて

（１）神戸大学が保有する個人情報は，「個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）」の法令を遵守するとともに，「神戸大学の保有する個人情報の管理に関する指針」等に基づき厳密に取り扱います。

（２）入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は，入学者の選抜（出願処理，選抜実施），合格者発表，入学手続業務，入学前教育業務，今後の入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究のために利用します。

（３）出願にあたってお知らせ頂いた個人情報は，入学者の個人情報についてのみ，入学後の学生支援関係（健康管理，授業料免除及び奨学金申請），教務関係（学籍，修学指導）等の教育目的及び授業料等に関する業務並びにこれらに付随する業務を行うために利用します。

（４）一部の業務を神戸大学より委託を受けた業者（以下，「受託業者」という。）において行うことがあります。この場合，業務を行うために必要となる限度で受託業者に個人情報を提供しますが，守秘義務を遵守するよう指導します。

（５）国公立大学の分離分割方式による合格者及び追加合格者決定業務を円滑に行うため，氏名及び生年月日，高校コードに限り，合格及び入学手続に関する個人情報が，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供されます。

12. 修学案内

（１）入学後の転学部・転学科・転コース・転領域は原則としてできません。

（２）文学部の「専修配属」について

① 入学者の各専修への配属は，入学１年後に決定します。

② 各専修への配属に当たっては，専修別受け入れ可能人数の枠内において，本人の希望により決定します。専修の受け入れ可能人数を超えた場合は，学業成績，試験または面接等による選抜が行われます。

③ 各専修の内容等の詳細は，文学部案内パンフレット又は文学部ホームページを参照してください。(http://www.lit.kobe-u.ac.jp/)

④ 各専修の受け入れ可能人数は，次のとおりです。

専修	受け入れ可能人数	専修	受け入れ可能人数	専修	受け入れ可能人数
哲学	24人	フランス文学	６人	言語学	９人
国文学	24人	日本史学	12人	芸術学	８人
中国文学	８人	東洋史学	16人	社会学	18人
英米文学	16人	西洋史学	16人	美術史学	８人
ドイツ文学	６人	心理学	12人	地理学	６人

（３）国際人間科学部の「グローバル・スタディーズ・プログラム（GSP）」について

① 国際人間科学部では，学生全員が国内外でのフィールド学修に参加し，グローバル社会における課題について考察を深め，卒業研究・キャリア形成へとつなげていきます。卒業後，「グローバル共生社会」の実現に貢献できる人を養成することを目指し，国内外の課題の解決現場に身を置く実践型教育プログラムであるGSPを「必修科目」に指定しています。

② GSPの中心となる国内外でのフィールド学修では，学生の関心や専門性・将来設計に応じて，次の２つのコースを用意しています。

・海外コース：交換留学，海外スタディツアー，海外語学研修，サマースクール等，海外の現地において海外フィールド学修を行います。

・国内コース：国内の学校やその他施設で，フィールド学修を行います。オンラインで海外とつなぐオンラインプログラムを含みます。ただし，海外渡航は伴いません。

※GSPにおける国内外でのフィールド学修のプログラムは多彩であり，日本を含む世界中の多様な地域や文化圏で実施されます。

※国内外でのフィールド学修に伴う費用は選択するプログラムや地域によって異なりますが，学生の自己負担となります。

③ GSPでは以下のような充実した支援体制をとっています。

・GSPオフィスを置き，プログラムの実施を支援し，学生の相談にも応じます。

・学生の安全確保のため，危機管理体制を構築しています。

（４）海洋政策科学部の「領域配属」及び注意事項について

① 「志」特別選抜により入学した者は，出願時に志望した領域に２年次に配属されます。

② 各領域の詳細内容は，海洋政策科学部案内パンフレットを参照してください。

③ 各領域・コースの配属時の定員は，次のとおりです。

領域・コース		最大配属定員
海洋基礎科学領域		50 人
海洋応用科学領域		70 人
海洋ガバナンス領域		40 人
海技ライセンスコース	航海学領域	50 人
	機関学領域	40 人

（配属定員には，「志」特別選抜による入学者を含みます。）

④ 航海士及び機関士を育成する海技教育（船舶職員養成教育）は，海技ライセンスコースの航海学領域及び機関学領域でそれぞれ行われます。

⑤ 海技ライセンスコースに配属された学生が海技免許を取得するためには，第３学年及び第４学年に独立行政法人海技教育機構練習船で，それぞれ３か月間の集中で実施される「船舶実習-１」（第３学年必修）及び「船舶実習-２」（第４学年必修）を修得の上，学部卒業後の乗船実習科における６か月の船舶実習が必要です。

なお，船舶実習（乗船実習科における船舶実習含む）の履修及び海技免許の取得のためには，以下の表で示される健康診断基準を満たす必要があります。健康診断の結果により，これらの科目の履修が認められない場合には，海技免許の取得資格を得ることはできませんが，最小年限での学部の卒業に支障はありません。

【健康診断基準】

項　目	航海士	機関士
視　力	視力（矯正視力を含む）が両眼ともに0.5以上であること。	視力（矯正視力を含む）が両眼で0.4以上であること。
色　覚	基準：以下の色覚検査に合格すること。 石原色覚検査表（国際版38表）及びパネルＤ－15を使用し，少なくともパネルＤ－15を用いた検査に合格すること。	基準：以下の色覚検査に合格すること。 石原色覚検査表（国際版38表）及びパネルＤ－15を使用し，少なくともパネルＤ－15を用いた検査に合格するか，いずれも不合格の場合には船員法指定医療機関（国土交通省海事局・各地方運輸局・神戸運輸監理部のホームページ等にて確認してください。）における特定船員色識別適性確認表を用いた検査に合格すること。
聴　力	５メートル以上の距離で話声語を弁別できること。	
握　力	男子の握力は，左右共に25キログラム以上，女子の握力は，左右共に17キログラム以上であること。	
疾病及び身体機能の障害の有無	心臓疾患，視覚機能の障害，精神の機能の障害，言語機能の障害，運動機能の障害，その他の疾病又は身体機能の障害がないか，あっても軽症で修学に支障をきたさないと認められること。	

（注）

・海技免許の取得を希望する者は，**出願前に専門医を受診**し，色覚に関する検査を含め，健康診断基準を満たして

いることを確認しておいてください。

・この健康診断基準は，船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則別表第三に規定された海技士身体検査基準表及び船員法施行規則第二号表（第五十五条関係）に従っています。

・不明な点については，出願時までに海洋政策科学部教務学生グループへお問い合わせください。

13. 麻しん（はしか）・風しん等の感染予防措置

１．麻しん・風しんのワクチン接種（予防接種）・抗体検査に関する書類の提出について

本学では「麻しん風しん登録制度」を定め，入学後のキャンパス内での麻しん・風しんの流行を防止するため，全ての新入生に次の①，②，③のいずれかを入学後，４月に行われる新入生健康診断時に提出していただいています。ただし，医学部（保健学科）では①又は③のいずれかに限ります。

① 麻しん・風しんのワクチン接種を，満１歳以降にそれぞれについて２回ずつ受けたことを証明する書類
② 過去５年以内（令和２（2020）年４月以降）に麻しん・風しんのワクチン接種を，それぞれについて１回ずつ受けたことを証明する書類
③ 過去５年以内（令和２（2020）年４月以降）に受けた麻しん・風しんの抗体検査の結果が，「麻しん・風しんの発症を防ぐのに十分な血中抗体価（次ページ表参照）を有していること」 を証明する書類

＊ ①，②のワクチンは，麻しん・風しん混合ワクチン（ＭＲワクチン）等の混合ワクチンでもかまいません。
＊ ①，②では，接種したワクチンの種類と接種年月日が記載されていることが必要です。
＊ 母子手帳等のワクチン接種記録や接種済証も，接種したワクチンの種類と接種年月日が記載されていれば ①，② の書類として使用できます。
＊ 既往歴（かかったこと）がある場合は，③を提出するか，ワクチン接種を受けて ① か ② を提出してください。
＊ ③では，下表の血中抗体価の測定方法と測定値が記載され，測定値が同表の判定基準を満たしていることが必要です。血液検査結果票そのものの提出でもかまいません。血中抗体価が不十分な場合には，必要なワクチン接種を受け，①か②を提出してください。
＊ ①，②，③の書類の組み合わせ，例えば麻しんについては①，風しんについては③を提出してもかまいません。
＊ 麻しん・風しんの血中抗体価が不十分にもかかわらず，病気や体質等やむを得ない事情によってワクチン接種を受けられない場合には，その旨を記載した文書（医師による証明書等）を提出してください。
＊ 上記のいずれの書類も入学試験の合否判定に用いるものではありません。

＜提出期限と提出先＞

提出期限：４月入学者は新入生健康診断実施日
提出先　：健康診断会場内 麻しん風しん登録受付

２．流行性耳下腺炎と水痘のワクチン接種（予防接種）・抗体検査に関する書類の提出について

［ 医学部（保健学科）新入生のみ ］

医学部（保健学科）の新入生には上記の麻しん・風しんに加えて，流行性耳下腺炎と水痘についても，①ワクチン接種を満１歳以降にそれぞれについて２回ずつ受けているか，②過去５年以内（令和２（2020）年４月以降）に受けた抗体検査で「発症を防ぐのに十分な血中抗体価（次ページを参照)」を有しているか，のいずれかを証明する書類（様式は合格発表後に医学部入学試験合格者に郵送します）を提出していただきます。

医療従事者には、原則２回のワクチン接種歴が求められるようになってきていることから、可能な限り①の２回のワクチン接種歴を提出することをお勧めします。罹患歴がある場合は②でもかまいません。

また，血中抗体価が不十分な場合には，必要なワクチン接種を，満１歳以降にそれぞれについて２回ずつとなるよう提出期限までに受けていただきます。（２回のワクチン接種は，４週間以上の間隔をおいて受けることが必要です。）

流行性耳下腺炎，水痘の血中抗体価が不十分にもかかわらず，病気や体質等やむを得ない事情によって予防接種を受けられない場合には，その旨を記載した文書（医師による証明書等）を提出してください。

＜提出期限と提出先＞

提出期限：第１学年の６月末日

提出先　：保健管理センター（六甲台）

発症を防ぐのに十分な血中抗体価の測定方法と判定基準

	測定方法	判定基準	備　考
麻しん	IgG－EIA 法 PA 法 NT 法	8.0 以上の陽性（16.0 以上）＊ 256 倍以上の陽性（256 倍以上）＊ ４倍以上の陽性（８倍以上）＊	３つの測定方法のうち，いずれかで陽性 ＊ 医学部(保健学科)は，３つの測定方法のうち，いずれかで（　）内の値以上の陽性
風しん	HI 法 IgG－EIA 法	32 倍以上の陽性 8.0 以上の陽性	２つの測定方法のうち，いずれかで陽性（HI 法を推奨）
流行性耳下腺炎	IgG－EIA 法	4.0 以上の陽性	医学部(保健学科) のみ
水　痘	IgG－EIA 法 LAHA 法 NT 法	4.0 以上の陽性 ４倍以上の陽性 ４倍以上の陽性	医学部(保健学科) のみ ３つの測定方法のうち，いずれかで陽性（IgG－EIA 法を推奨）

＊ワクチン接種歴が条件を満たす場合や満たすように追加接種する場合は、抗体検査は不要です。

＊血中抗体価の測定は，この表の方法によってください。

＊発症を防ぐのに十分な血中抗体価は，測定方法によって異なります。また，**単に抗体陽性とされる値よりは高い値**なので注意してください。特に，医学部（保健学科）では，麻しんの血中抗体価が（　）内の値以上の陽性であることが必要です。

＊医療機関を受診する際には，必要なワクチン接種や抗体検査を受けることができるか，予め確認してください。また，この学生募集要項を医師に提示するなどして必要な証明書を発行してもらってください。（特に，抗体検査を受ける場合は，測定方法と判定基準を確認していただいてください。）

＊神戸大学保健管理センターのホームページも御参照ください。

（URL：http://www.health.kobe-u.ac.jp/）

この感染予防措置に関する問い合わせは

神戸大学　保健管理センター　　TEL 078-803-5245

神戸大学　学務部学生支援課　　TEL 078-803-5219

14. 入学料免除及び徴収猶予並びに授業料免除について

免除等の内容，申請方法等の詳細は，神戸大学ホームページ（「学生生活・学生支援」→「経済支援」→「授業料（入学料）の免除及び入学料の徴収猶予について」）に掲載します。
（URL：https://www.kobe-u.ac.jp/ja/campus-life/financial-aid/tuition/）
掲載内容について，不明な点等がある場合は，下記の問い合わせ先に照会してください。

【入学料免除及び徴収猶予並びに授業料免除に関する問い合わせ先】
神戸大学学務部学生支援課奨学支援グループ
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1-2-1
メール:stdnt-shogakushien@office.kobe-u.ac.jp
（問い合わせの際は，必ず学籍番号（学籍番号が不明の場合は受験番号），氏名を記載してください。）

［参考］
令和６年度の入学料免除及び徴収猶予並びに授業料免除の内容は，次のとおりです。

１．入学料免除について
（１）大学等における修学支援に関する法律の施行に伴い令和２年４月から始まった「高等教育の修学支援新制度」（以下「新制度」という。）の申請資格を満たす入学者は，日本学生支援機構の給付奨学金について，次のいずれかに該当する場合に申請ができます。
① すでに予約採用を行い採用候補者となっている。
② 入学後に在学採用の申込みを行う。
（注 1）上記 ① ② いずれの場合も，入学後，必要な手続きを行ってください。手続きを行わなかった場合は，入学料徴収猶予に切り替えて取り扱います。
（注 2）一部免除又は免除不許可になった場合は，必ず決められた期間内に入学料を納付しなければなりません。
（２）新制度の申請資格を満たさない入学者（留学生・学士編入者・高等学校等を初めて卒業した年度の翌年度の末日から，大学等に入学した日までの期間が２年を経過した者等）においても，次のいずれかに該当する場合に申請ができます。
① 入学前１年以内に，学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し，又は本人若しくは学資負担者が風水害等の被害を受けたことにより，入学料の納付が著しく困難であると認められる場合
② その他，①に準ずる場合で本学が相当と認める事由がある場合
（注 1）入学料を納付した者は，入学料免除の対象となりません。
（注 2）一部免除又は免除不許可になった場合は，必ず決められた期間内に入学料を納付しなければなりません。

２．入学料徴収猶予について
次のいずれかに該当する場合は，本人の申請に基づき，選考の上，入学料の徴収を猶予されることがあります。
①経済的理由によって入学料の納付が困難であり，かつ学業優秀と認められる場合
②入学前１年以内に，学資負担者が死亡し，又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，入学料の納付が困難であると認められる場合
③その他やむを得ない事情により納付期限までに納付が困難であると認められる場合
（注）徴収猶予が許可になった場合でも，必ず決められた期間内に入学料を納付しなければなりません。

３．授業料免除について
新制度の申請資格を満たす者について，日本学生支援機構の給付奨学金とあわせて実施します。

15. 学生のノートパソコン必携化について

神戸大学では，高度情報化社会において情報通信技術の十分な活用能力を有する人材を育成し，それらの技術を活用した教育の提供を目的に，パソコンの必携化を実施しています。学習支援システム(BEEF+ 等)を利用した双方向授業，レポートの作成，提出，講義資料の閲覧，履修登録，成績の閲覧，電子雑誌・図書の閲覧等にパソコンを活用します。授業でパソコンを利用することがありますので，教員の指示があった場合には持参できるように，入学までにパソコンをご準備ください。

※ノートパソコンの最低限必要なスペック及び各学部が推奨するスペックなどの詳細は，大学ホームページでご案内します（１２月頃の予定)。

※経済的事情によりノートパソコンを用意することが困難な方へ

貸与希望者に対し，本学からノートパソコンを 1 年間無償で貸与します。詳細については決まり次第，大学ホームページにてご案内します。

(URL:https://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymsys/student/green/pcmust/index.html)

＜問い合わせ先＞

制度全体・貸与希望について：神戸大学学務部学務課 TEL:078-803-5204

パソコンのスペック・ソフトウェアについて：神戸大学情報基盤センター

e-mail ： istc-pc@office.kobe-u.ac.jp

各学部等の住所・電話番号等（問い合わせ先）

電話による問い合わせは，必ず志願者本人が行ってください。

学 部 等	郵便番号　　住　　所	あて先（電話番号）
学務部入試課	〒657-8501　神戸市灘区六甲台町1-1	神戸大学　学務部入試課 078-803-5230
文　学　部	〒657-8501　神戸市灘区六甲台町1-1	神戸大学　文学部教務学生係 078-803-5595
国際人間科学部 **環境共生学科**	〒657-8501　神戸市灘区鶴甲3-11	神戸大学　国際人間科学部 鶴甲第二キャンパス事務課　教務学生係 078-803-7924
法　学　部	〒657-8501　神戸市灘区六甲台町2-1	神戸大学　法学部 教務グループ 078-803-7234
医　学　部 **保 健 学 科**	〒654-0142　神戸市須磨区友が丘7-10-2	神戸大学　医学部保健学科教務学生係 078-796-4504
工　学　部	〒657-8501　神戸市灘区六甲台町1-1	神戸大学　工学部教務学生係 078-803-6350
農　学　部	〒657-8501　神戸市灘区六甲台町1-1	神戸大学　農学部教務学生係 078-803-5928
海洋政策科学部	〒658-0022　神戸市東灘区深江南町5-1-1	神戸大学　海洋政策科学部教務学生グループ 078-431-6225

問い合わせ時間　　9:00～17:00（土日祝日及び夏季休業，年末年始は除く。）

〈神戸大学ホームページ〉 https://www.kobe-u.ac.jp

入試情報（https://www.kobe-u.ac.jp/ja/admissions/）
大学案内・学部案内等請求方法，出願結果，入試結果